

仁淀川町公式ガイドブック

仁淀川町で遊ぶ本

niyodogawa town
official guidebook



仁
淀
川
町
公
式
ガ
イ
ド
ブ
ッ
ク

仁
淀
川
町
で
遊
ぶ
本

※本誌掲載のデータは2024年7月1日に一部改訂したものです。

2013年 4月 1日一部改訂
2014年 1月10日一部改訂
2014年10月 1日一部改訂
2017年 4月 1日一部改訂
2019年 4月 1日一部改訂
2020年 9月 1日改訂
2021年 7月26日一部改訂
2022年 5月 6日一部改訂
2023年 7月19日一部改訂

 高知県仁淀川町
〒781-1592
高知県吾川郡仁淀川町大崎200
TEL 0889-35-0111
FAX 0889-35-0571



仁淀川町観光大使 吉田 類

<https://www.town.niyodogawa.lg.jp>

仁淀川町

検索



niyodogawa town

特集

仁淀川町
自然を満喫
散歩日和

Let's make a wonderful trip



スマホ・タブレットで
動画が見られます
(詳しくはP.3を)

高
知
県
仁
淀
川
町

仁淀川(寺村西浦地区)

はじまり

高知県北西部に広がる仁淀川町は、「奇跡の清流」と呼ばれる

仁淀川とともに歩んできました。

ゆったり蛇行する雄大な流れや、

透き通るブルーに輝く溪流。

川を見下ろす山々で咲き誇る

色鮮やかな季節の花々。

里の暮らしに育まれた食や特産品。

人々に受け継がれてきた祭りや神楽。

これら仁淀川町ならではの

豊かな恵みがお待ちしています。

高知市から車でわずか1時間。

ここにはきっと、心安らぐ出会いがあります。

もくじ

04 仁淀川町旅のしおり

10 特集

仁淀川町自然を満喫
散歩日和

16 モデルコース紹介

北部・中部・南部エリア
イベントカレンダー

20 エリア紹介

安居川エリア・土居川エリア
仁淀川本流エリア・中津川エリア
長者川エリア・岩屋川エリア

32 歴史、文化

34 仁淀川町のごちそう

36 自然が息づくいとなみ

38 泊まりたくなる仁淀川町

40 仁淀川町春夏秋冬

茶・桜・花桃・バラ
神楽・秋葉まつり

54 吉田類さんの

ふるさとの旅アルバム

56 移住者ご紹介



58 仁淀川町の林業

60 巻末特集 仁淀ブルー

64 仁淀川町データブック

66 いちもくりようぜん図

仁淀川町で遊ぶ本

niyodogawa town
official guidebook



発行：高知県仁淀川町
〒781-1592
高知県吾川郡仁淀川町大崎200
TEL 0889-35-0111
FAX 0889-35-0571
<https://www.town.niyodogawa.lg.jp>



AR movie AR動画配信中!

スマホで
仁淀川町
PR動画を
チェック!

無料（登録不要）

1 スマホ・タブレット専用ARアプリを
ダウンロードしてご覧ください。
iphone/ipadは「App Store」、スマホ/タ
ブレットはGoogle「Playストア」。各サイ
トで「COCOAR2」を検索し、アプリ（パン
ダマーク2）をダウンロードしてください。
App Store Playストア ARアプリ

2 アプリを起動し、カメラマークをタップ。
ARマークが付いている
写真にかざしてください。
(表紙、P10、P43、P46、P52、P58、P63)

3 動画の再生が始まります。スマホを
横にして動画フレームをクリックす
るとサイズが大きくなります。

※通信環境により反応が遅い場合があります。
一部、対応していない機種があります。

旅のしおり 2

仁淀川町 エリアガイド

→ P20 から

仁淀川町のおすすめスポットや魅力をエリア別（安居川、土居川、仁淀川本流、中津川、長者川、岩屋川の6エリア）でわかりやすく紹介します。



ひょうたん桜（桜地区）

仁淀川町公式ガイドブック

仁淀川町で遊ぶ本

旅のしおり

niyodogawa town
TA BI no SHI O RI

「仁淀ブルー」で知られる

日本一の清流沿いに広がる仁淀川町。

その全国に誇る豊かな自然や

特産品を使った個性的な食、

山里の人と風土が創り上げた文化などを

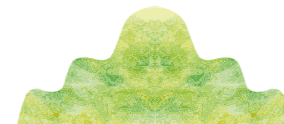
美しい写真でご紹介します。

どうぞ、私たちの町を訪れて、

これらの宝物に触れ、

体感してください。

※詳細は各ページをご覧ください。



旅のしおり 1

仁淀川町 自然を満喫 散歩日和

→ P10 から

仁淀川町三大渓谷である安居渓谷、中津渓谷、岩屋川渓谷を、楽しく気楽に散歩しよう。渓谷界隈で体験できるアクティビティなどもご紹介。



旅のしおり 3

仁淀川町のごちそう

→ P34 から

清流仁淀川と豊かな森は、多様な食文化も生み出しました。昔から伝わる素朴な味や人気のスイーツなど、ごちそうがたくさん。

茶畑プリン（池川茶園）

安居渓谷（もみじ公園）

04



茶畑(沢渡地区)

旅のしおり 6 春夏秋冬

→ P 40 から

四季によりさまざまな表情をみせる仁淀川町の魅力をお茶、桜、神楽、秋葉まつりなどともにご紹介します。



秋葉まつり



岩戸の手漉き和紙

旅のしおり 4 自然が息づく いとなみ

→ P 36 から

古くからの伝統を受け継ぎ技術を磨く人、新しいものを生み出す人。仁淀川町の自然の中で、さまざまな資源や加工品が生み出されています。



中津溪谷ゆめ森(名野川地区)



旅のしおり 5 泊まりたく なる 仁淀川町

→ P 38 から

日帰りにはもったいない！リバービューの宿、体験型宿泊施設、おしゃれ温泉宿など、個性的な宿泊施設でお泊まりし、仁淀川町をもっと満喫しよう。



旅の
しおり 9

巻末特集
仁淀ブルー

→ P 60 から

仁淀川には、忘れられない日本の原風景が生きています。仁淀川の魅力を、「仁淀ブルー」の名付け親、写真家・高橋宣之さんの美しい写真とともにご紹介します。



旅の
しおり 7

吉田類さんの
ふるさとの
旅アルバム

→ P 54 から

仁淀川町観光特使の吉田類さんが仁淀川町のさまざまな見どころを訪ね歩きました。途中、珍しい植物や美しい山にも出会うことができました。



旅の
しおり 8

仁淀川町の
林業

→ P 58 から

高知県の森林率は全国トップで、県土の84%を占めています。仁淀川町はそれをさらに上回る89%。その森で、先進的な林業が行われています。



迫力満点の絶景
飛龍の滝

安居渓谷を代表する景観の一つ『飛龍の滝』。昭和32年に発見され、安居渓谷県立自然公園の中心的な観光資源として整備されていて滝の近くまで行くことができます。

みどころ 迫力のある2段の滝と、美しい滝壺。秋には紅葉と合わせて楽しめます。乙女河原から遊歩道を10分ほど歩くと見えます。



渓谷を満喫できる宿
宝来荘

渓谷に入るとすぐ川の縁に見える食事処と宿泊棟。全室から渓谷が見渡せます。

みどころ 周辺では、アウトドアやバーベキューも楽しめます。詳しくはP21参照。

秋は水しぶきと紅葉がきれい

一度では全て回りきれない!

「安居川エリア」
P20・21
地図で場所をチェックしてね!



つる龍の滝と呼ばれるいます。次に訪れたのは、『もみじ公園』。初夏には深緑、晩秋には紅葉の絶景が広がる広い庭園のような空間です。さらに奥に進むと、今話題の仁淀ブルーを見ることが出来る『水晶淵』が姿を見せます。息をのむ水の美しさ。秋・冬の渓谷は水の透明度も一段と上がり仁淀川流域でも特に美しい仁淀ブルーを望むことができます。ここで引き返さずに突き当たりまで進むと、『砂防ダム』の水のカートンを見ることが出来ます。また、地元食材を使用した料理やバンガローでの宿泊が楽しめる『宝来荘』に滞在すれば、安居渓谷の魅力をさらに満喫することができます。



話題の「仁淀ブルー」を堪能
水晶淵

安居渓谷のなかでも最も美しい「仁淀ブルー」を堪能できる場所。もみじ公園駐車場から遊歩道を3分ほど歩くと見えてきます。季節や時間帯、見る角度によって青や緑に色を変えるので、何度訪れても楽しめます。

みどころ 透明度が高く、川が深くなるにつれて水の青が濃くなる神秘的な景観。見る人に感動を与えてくれる美しい淵です。



見逃しがちな絶景スポット
砂防ダム

水晶淵から遊歩道をさらに上流へと進み、背龍の滝を過ぎたところで出てくる砂防ダム。条件が整えば水晶淵と同等の仁淀ブルーがご覧になれます。

みどころ 見どころはダムの下にできた水の溜まり場と、長さのあるダムから放流される水カーテンのような光景。



安居渓谷県立自然公園

宝来山の麓、新緑や紅葉、
清らかな川の流れる楽しめる



四季折々の自然の美しさを感じられる安居渓谷県立自然公園。約10kmにも及ぶ安居川上流の渓谷景観を主体としたこの公園には、背龍の滝や乙女河原、千仞峡など自然が創りだした見どころがたくさんあります。春夏秋冬一年を通して楽しむことができ、訪れるたびに違った表情の渓谷を楽しむことができます。

みどころ 初夏には新緑と木漏れ日、秋に真っ赤に染まった紅葉が楽しめるもみじ公園。乙女河原からもみじ公園まで1kmほどの遊歩道があるので川のせせらぎを聞きながら紅葉狩りができます。



訪れる度に魅力が増す
安居川の渓谷美

安居渓谷は、全体で約10kmにもなる壮大な渓谷です。季節の移ろいによって景観が変わるので、訪れる度に安居川の渓谷美を楽しむことができます。また、見どころが多いのも安居渓谷の特徴の1つ。まず最初は、遊歩道の入り口にもなっている観光客の憩いの場「乙女河原」へ。そこから10分ほど歩くと、安居渓谷のシンボルでもある『飛龍の滝』が現れます。龍が体をくねらせ飛び立つような姿から名付けられた滝は、さらに奥にある『背龍の滝』や『昇龍の滝』と総称して3

特集

仁淀川町
自然を満喫
散歩日和

Let's make a wonderful trip

仁淀川町の
アッチコッチを
楽しく気軽に
おさんぽしよう



所要時間は
1~2時間





中津溪谷のシンボル
雨竜の滝

溪谷の入り口から20分ほど歩いた場所にあるのが「雨竜の滝」です。滝壺の深さは約5m、多方向へ勢いよく吹き出す水は落差20m。その雄大な姿から「竜吐水」とも呼ばれています。

みどころ 天候や時間帯によって幻想的な虹が現れることも。午後2時ごろに見られることが多く「2時の虹」という愛称がつけられました。



映画のロケ地にも!
吾川スカイパーク

映画「県庁おもてなし課」の舞台にもなった吾川スカイパーク。本格的なパラグライダーがで、中津山(明神山)の山頂近くからスカイパークまで、澄み切った風と大空のなかフライトが楽しめます。

みどころ 四国有数の本格的パラグライダー基地。初心者向け体験メニューもあるので、初めての方でも楽しめます。詳しくはP27参照。

「中津川エリア」P26・27 地図で場所をチェックしてね!

見つけることができるかな?

七福神

中津溪谷の楽しみ方の一つ・七福神巡り。美しい溪谷のなかに毘沙門天、恵比寿天、弁財天、大黒天、福祿寿、寿老人、布袋和尚の石像が点在しています。

みどころ 「心が綺麗な人しか見えない」といわれるほど、見つけることが難しい神様も。目を凝らして、探してみてください。

特集

仁淀川町 自然を満喫 散歩日和

Let's make a wonderful trip



明神山城跡も見どころ 中津山

愛媛県との県境に位置し、通称「中津明神」と呼ばれる中津山。標高は1541m。クマザサの野原が一面に広がる頂上まで車で登ることも可能です。

みどころ 並び連なっている山々とは異なり、山が独立しているのも、山頂からの見晴らしは抜群。

中津山へドライブもおすすめ

溪谷の岩が赤いのは岩石ができる際に地球の気候に鉄分が多く含まれていたことが影響しているのだとか。点在する『七福神』の石像を探しながら散策できるのも中津溪谷の特徴の一つ。約20分ほど歩くと『雨竜の滝』に到着。滝の迫力に圧倒されます。



中津溪谷県立自然公園

春夏秋冬の溪谷美に触れる
五感で楽しむ中津溪谷



niyodogawa town

所要時間は
約1時間



壮大な水の森の 世界観に入り込む

中津溪谷は全体で約2.3km。11月には紅葉を楽しみながら、溪谷を間近に楽しめる景勝地です。整備された遊歩道と大きな岩々が一体となり、まるで秘境に入り込んだかのような独特の世界観が楽しめます。入り口には温泉宿泊施設「中津溪谷ゆの森」があり、併設されたレストラン「PONTÉ」では地元食材を使った多彩な料理が味わえます。

まず、遊歩道に入ると赤みがかった岩が増えてきます。中津





クリスタルカヤック・SUP体験

川底が見渡せるほどの透明度を誇る仁淀川町の北部(旧池川町)にある宮崎の河原キャンプ場。ゆるやかな流れの中でインストラクターと共に川を周遊しますので、子どもから大人まで初めての方も安心してご参加いただけます!詳しくはP23参照。



データ 仁淀川アウトドアセンター
(☎ 0889-20-9619)

データ スタンダードな半日ツアーは8,500円～。小さな子どもでも楽しめるキッズツアーもあります。お問い合わせはNiyodo Adventure (☎ 080-5026-3288)へ。

滝や洞窟を冒険 キャニオニング

渓谷を下りながらトレッキングや遊泳などを楽しむキャニオニング。ロープを使って崖を下り渓谷の中を泳いで、普段は入ることのできない中津渓谷の滝や洞窟を冒険できるツアーです。



吊り橋・ジップライン

大自然に囲まれた岩屋川渓谷の上空30mに吊り橋とジップラインが登場。丸太やロープでできた吊り橋や、渓谷を見下ろしながらのジップラインはスリル満点です。

データ NIYO FLY
(☎ 090-4546-0855)



町内キャンプ場一覧

キャンプ場	住 所	予約の可否	予約・問い合わせ先	キャンプ場	住 所	予約の可否	予約・問い合わせ先
宮崎の河原キャンプ場	仁淀川町長屋	不 要	池川総合支所 池川地域課 ☎0889-34-2114	吾川スカイパークキャンプ場	仁淀川町上名野川	不 要	企画振興課 ☎0889-35-1082
仁淀川町ふれあい公園オートキャンプ場	仁淀川町北浦	必 要	仁淀川アウトドアセンター ☎0889-20-9619	秋葉の宿キャンプ場	仁淀川町高瀬	必 要	秋葉の宿 ☎0889-32-2771
夢の森公園キャンプ場	仁淀川町下名野川	必 要	集落活動センター 山村自然楽校しもの郷 ☎0889-35-0005	星ヶ窪キャンプ場	仁淀川町長者	不 要	仁淀総合支所 仁淀地域課 ☎0889-32-1113

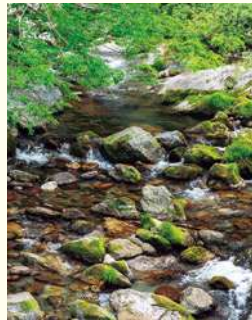
アクティブに体感!



もっと身近で
仁淀ブルーを体験する



仁淀川町にきたのなら体験しておきたいのがカヌーやトレッキング。渓谷だから体験できるキャニオニングや、気軽にできるSUPなど、一人でもグループでも満喫できるアクティビティが仁淀ブルーの魅力をより引き出してくれます。



土佐の名水40選に選ばれた 岩屋川

仁淀川町にある、岩屋川、長者川、中津川、安居川、土居川の5つの川が仁淀川の主な支流です。そのなかでも岩屋川は、土佐の名水40選に選ばれるほど美しい川。アメゴなどの姿も見られます。透明に近い青色の川は、大引割の近くを源流に大渡ダム湖に流入しています。

「岩屋川エリア」P30-31 地図で場所をチェックしてね!



岩屋神社から数分かけて川の方へ降りて行くと、歴史を感じさせる煉瓦色の橋が現れます。



迫力満点、神が宿る 岩屋神社の大岩

高さ18.9m、幅26.0mで、深さ5.6mの赤みをおびた巨岩があり、その足元に神社があります。秋葉神社のご本尊が、かつて祀られていた場所です。今も秋葉まつりの初日には、お神輿に乗った神様が、岩屋神社へ戻ってこられます。歴史の深い神社です。

仁淀川町の
アッチコッチを
おさんぽしよう



岩屋川渓谷

奇岩と四季の風景が
織りなす絶景に魅了される



所要時間は
徒歩で
約2時間

特集

仁淀川町
自然を満喫
散歩日和

Let's make a wonderful trip

長者川エリア

歴史ある石垣棚田の風景を
季節のイベントと楽しむ



類を見ない棚田の景観

仁淀川町役場から車で

約20分ほどの場所に位置

する長者川エリア。400

年以上の歴史を誇る棚田

や樹齢1200年の大

銀杏が織りなす風景は圧

巻です。また季節のイベン

トとして夏には長者の七

夕まつり、秋にはキャン

ドルナイトなどが行われてい



長者地区を見守る銀杏

長者の大銀杏

樹齢1200年の大銀杏。樹全体が黄金色に染まる晩秋に見頃を迎えます。県指定天然記念物にも指定されています。

みどころ 樹高約15m、根回り11.6mの大木。江戸時代には40m近く高さがあったそうです。

「長者川エリア」P28-29
地図で場所をチェックしてね!

みどころ 先人が残した石垣棚田の上には無数の家が立ち並んでいます。

農家レストラン
でランチも
できる!



🌲 屋食
笑美寿茶屋

中津渓谷の駐車場そばにある直販所とお食事どころ。

仁淀川町名野川456
☎0889-36-0456
営業時間／
9:00～17:00(4月～11月)
9:00～16:00(12月～3月)
定休日／不定休

徒歩で3分

12:00▶13:00



start!

🌲 体験

Niyodo Adventure

中津渓谷や仁淀川の上流区間でキャニオニングやバックラフトを体験できる。経験豊富なインストラクターがガイドをつとめる。

仁淀川町名野川450 ☎080-5026-3288

13:05▶15:00



徒歩で3分



15:05▶17:00

🌲 散策

中津渓谷 (P.12-13参照)

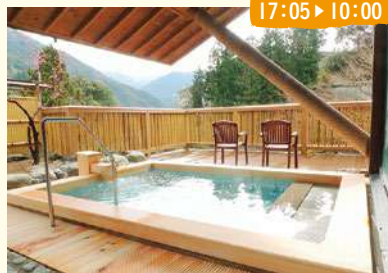
県立自然公園であり、四国のみずべ八十八ヶ所にも選ばれた中津渓谷。渓谷を流れる川の力や、雨などの自然の力でできた造形美が魅力。眩い緑の春から美しい紅葉の秋など年間通じて楽しめる渓谷。

🌲 宿泊

中津渓谷 ゆの森

中津渓谷の入り口に立つ温泉リゾート「中津渓谷ゆの森」。夕食は和食をご用意。宿泊も和室とコテージが選べる。

仁淀川町名野川258-1 ☎0889-36-0680
定休日／火曜日(祝日の場合翌日)、
水曜日(月2回休業日あり)、12/31、1/1



17:05▶10:00

周辺モデルコース &
中部エリアマップ
(旧吾川村)

「仁淀川町
アクティブ満載旅」
仁淀川町の
玄関口によるこそ。
川も山も町も
見どころいっぱい！
Let's make a
wonderful trip



goal!

🌲 体験・屋食 集落活動センター
山村自然楽校 しもの郷

廃校になった下名野川小学校を再生した、山村自然体験&宿泊施設。ミニ科学館などもあり。

仁淀川町下名野川619 ☎0889-36-0005
開館／8:30～21:00
休館／水曜日(祝日の場合翌日)、
年末年始(12/31～1/3)

車で10分

車で20分

🌲 体験

吾川スカイパーク

パラグライダーで上昇気流に乗って、中津山(明神山)の山頂近くからスカイパークまで、充実のフライトが楽しめる。初心者向け体験メニューもあり。星空を堪能するキャンプもおすすめ。

パラグライダー予約／ウィンド・パルE.S.D. ☎090-3185-3655
キャンプ場など／企画振興課 ☎0889-35-1082



10:20▶12:20

🌲 屋食

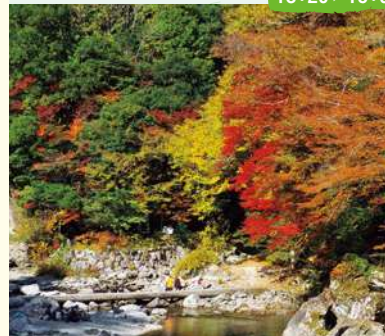
いけがわ 439 交流館

地元の新鮮野菜やお寿司、お饅頭、お茶などの特産品がずらり。レストランで川を眺めながらホッと一息しませんか。観光情報コーナーも。

仁淀川町北浦450-2 ☎0889-34-3988
営業時間／7:30～16:00
レストラン営業時間／
ランチ10:30～14:00
(OS13:30)
定休日／年末年始

車で20分

13:20▶15:00



車で5分



15:05▶10:00

🌲 宿泊

安居渓谷 宝来荘

安居川沿いに立つ落ち着いた雰囲気。ウッドデッキを備えたバンガローもおすすめ。地元の素朴な山の幸、川の幸が味わえる。

仁淀川町大屋1627-4
☎0889-34-3719
開館／9:00～21:00
レストラン営業時間／11:00～14:00
定休日／不定休

車で30分

12:00▶13:00



start!

🌲 散策

安居渓谷 (P.10-11参照)

安居渓谷県立公園で、四季の滝めぐり。渓谷の奥にはシンボルである飛龍の滝をはじめ、落差60mの昇龍の滝や、手の届くところで水しぶきを上げる背龍の滝もお見逃しなく。

北部エリア



🌲 体験

仁淀川アウトドアセンター

仁淀川の支流の中でも美しい土居川沿いにある宮崎の河原キャンプ場で、クリアカヤックやSUPの体験ができます。少人数でゆったりと清流を満喫できます。

仁淀川町長屋6 ☎0889-20-9619



10:30▶14:00

車で5分

🌲 見学、スイーツ
坂本の茶畑

仁淀川町は県内一の出荷量を誇る茶どころ。香り高く味の濃いお茶が生産され、お茶スイーツも人気。

goal!

「仁淀ブルー
癒しの大人旅」
きらめく支流、
安居川沿いで、
ココロ洗われる
渓谷美を満喫！
Let's make a
wonderful trip



14:05▶15:00

「仁淀の自然と文化満喫旅」

大渡ダムを抱えた雄大なエリア。美しい花や溪谷も待っています！
Let's make a wonderful trip



12:00▶13:00
見学など
沢渡の茶畑
仁淀川上流の大渡ダム湖畔にある茶畑。お土産にお茶を購入しては。対岸にはお茶をふんだんに使ったスイーツや地元で食べられるお食事を提供するお店も。



11:30▶12:30
start!

屋食 集落活動センター だんだんの里

棚田の風景を一望できる場所で、地元産の米や野菜などを使用したランチメニューや地元婦人が作ったケーキ、お菓子が味わえる農家レストラン。

仁淀川町長者乙2546-11 ☎0889-32-1833
営業時間／9:00～15:00 定休日／月・水・金・土・日曜日
※土・日についてはお問合せください。



12:30▶13:10

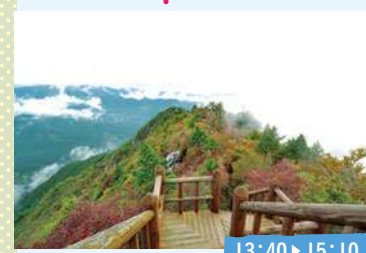
散策 長者の棚田

1,200年前に阿波から来た長者さまにちなんで名づけられたという「長者」。棚田や長者集落、長者の大銀杏などをのんびり散策しては。



登山 鳥形山 森林植物公園

遊歩道が整備され、さまざまな高山植物にも出合える。なだらかな自然林を抜ける片道30分ほどのコース。尾根には展望台があり、石灰岩の露天掘りも眺められる。



13:40▶15:10

宿泊 秋葉の宿

施設内のレストランでは地元の食材にこだわった料理を提供。大渡ダムを一望できる客室もあり。

仁淀川町高瀬3869 ☎0889-32-2771
レストラン営業時間／
ランチ 11:30～14:30(OS14:00)
ディナー 16:30～20:30(OS20:00)
定休日／レストラン:月・火



16:00▶10:00

散策 岩屋川溪谷

(P.14参照)
四国カルスト県立自然公園の一面を占める岩屋川溪谷。最大の淵「音釜」「鬼が岩」「ひょうたん淵」など、見どころ満載。

車で15分

仁淀川町で遊ぶ、
春夏秋冬

イベントカレンダー

2月11日 秋葉まつり◎別枝

総勢200人にもおよぶ行列が先払いの鼻高面を先頭に、笛・太鼓・鉦の囃子で3kmの山道を早朝から夕方にかけてゆつくりと練り歩く土佐三大祭りの一つです。(問／仁淀川町観光協会0889・35・1333)



4月第二日曜 中津観光開き◎中津溪谷

舞踏・カラオケなどのイベントや地場産品の販売も行われる観光シーズンの幕開けを告げるイベントです。(問／企画振興課0889・35・1082)

6月中旬 しもなの郷「山のなんでも市」

◎山村自然楽校しもなの郷
山野草・盆栽・花苗・木・農産物・木工品・古道具・骨董品などの山にある取れた・作られたものを販売します。田舎料理もあります。(問／しもなの郷0889・360005)



8月中旬 長者セタまつり

◎長者大銀杏前広場
棚田上空に設置された200mのワイヤーにさまざまな飾りが施され、カラオケ大会などのイベントや地場産品の販売も行われます。(問／だんだんくらぶ会長 西森勇幸0889・32・20028)



8月中旬 池川清流まつり

◎池川小学校グラウンド
ダックレース、丸太川上りレースなどの川を使ったイベントが行われ、神楽や打ち上げ花火も見られるお祭りです。(問／池川総合支所池川地域課0889・34・2114)



10月上旬 星ヶ窪まつり◎星ヶ窪キャンプ場

その昔、星の落下でできたと伝えられる高原の窪地「星ヶ窪キャンプ場」。青空コンサートなどのイベントや地場産品の販売も行われます。(問／教育委員会0889・350019)

11月下旬 中津溪谷紅葉まつり

◎中津溪谷
秋深まる中津溪谷の散策が楽しめます。また、猪なべ・手打ちそば・いりもちや田楽などの地場産品の販売も行われます。(問／企画振興課0889・35・1082)



11月下旬 長者deキャンドルナイト

◎長者大銀杏前広場
棚田で西暦にちなんだ数のキャンドルに火を灯します。イベントや地場産品の販売も行われます。(問／だんだんくらぶ 会長 西森勇幸0889・32・2028)



※イベント開催日は変更になる場合があります。

◆安居溪谷 宝来荘

MAP P66.8-E

しっとり落ち着いた雰囲気、せせらぎに寄り添って立つお宿。名前の由来は溪谷にそびえ立つ宝来山から。地元の人々の素朴な山の幸、川の幸が味わえ、日帰り旅のお昼ご飯にもおすすめです。



ウッドデッキを備えたバンガローは5タイプ、自炊可です。

客室(和室6畳×3、10畳×2)、バンガロー(4〜10名まで)×13、研修室(和室・60名収容)。
仁淀川町大屋1627-4
☎0889-34-3719
開館／9:00〜21:00 レストラン営業時間／11:00〜14:00
定休日／不定休
<https://www.yasuikeikoku-horaiso.com/>

◆砂防ダム

水晶淵から少し奥にある水のカーテンが見事な砂防ダム。名前はないが、仁淀ブルーの隠れた名所です。



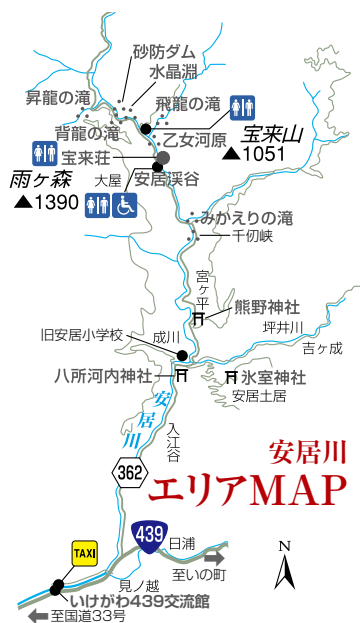
◆氷室神社

石鎚山系の高峰、標高1,806mの手箱山には氷室があり、夏にはここから切り出した氷塊が、はるばる高知城の藩主へと運ばれ、献上されていたそうです。



水晶淵

季節や時間帯によって川の色が緑や青に変化します。仁淀ブルーを感じられる、フォトジェニックなスポットです。
(右上周辺MAP:⑥)



詳細はP.48

安居神楽
安居川沿いの集落の秋祭りに奉納される神楽。寛永2年(1790)の神楽本、天保9年(1838)の神楽面が資料としてあり、古くは社家岡林家が伝承したものと伝えられ、大正5年頃、安居の神職安居宝定氏がその伝承を受け、保存伝承しています。演目は舞出の舞、悪魔払いなど15通り。国指定重要無形文化財。

MAP P66.7-E



宮尾登美子 ゆかりの安居

MAP P66.7-E

高知県出身の直木賞作家・宮尾登美子は、自伝的小説「仁淀川」を書いています。宮尾さんは17歳で教員として初めて安居国民学校に赴任。その後結婚して旧池川町でしばらく暮らし、た。



安居溪谷で 滝めぐり

MAP P66.8-E

安居溪谷県立公園で、四季の滝めぐりはいかが。溪谷の奥にはシンボルである飛龍の滝。また、県道を上流へ行くと、落差60mの昇龍の滝に出合えます。道路沿い、手の届くところで水しぶきを上げる背龍の滝も、お見逃しなく。(上部周辺MAP:④⑦⑧)



みかえりの滝

安居溪谷に入って最初の見所。瀬音に振り返れば優美な滝が。(上部周辺MAP:①)

niyodogawa
town
AREA
GUIDE
Vol.01



安居川エリア

美しさ天界級、
安居溪谷に安らぐ休日

西日本最高峰、石鎚山系の森から流れ注ぐ、安居川の溪谷美。青みがかった川石、どこか天界を思わせる透명한風景が10kmに渡って広がります。流域には古式ゆかしい安居神楽が伝わり、文人ゆかりの地も点在。新緑の春、錦に染まる秋冬、四季を通して美しい溪谷です。

◆ふれあい公園オートキャンプ場 MAP P66.6-E

国道439号沿い、池川大橋の南詰めを降りた木陰の涼しいキャンプサイト。少し上流には飛び込み台で有名なアカイセもあって、川遊びのメッカとなっています。調理場やトイレも完備。※要予約

仁淀川アウトドアセンター
☎0889-20-9619



◆宮崎の河原キャンプ場 MAP P66.6-E

土居川と小郷川の合流した河原にある、自然豊かなキャンプ場。透明度が高く、流れは穏やかです。

池川地域課
☎0889-34-2114



◆仁淀川アウトドアセンター MAP P66.6-E

仁淀ブルーが最も綺麗な安居溪谷からの水が流れ込む場所でSUP・カヤック体験ができます。

仁淀川町長屋6
☎0889-20-9619
<https://www.niyodo.jp/>



よさく ◆いけがわ439交流館 MAP P66.6-E

清流仁淀川へと続く土居川中流、国道439号沿いの交流拠点施設。レストランではNHKスペシャルの仁淀川特集に取り上げられた遊泳所「アカイセ」を一望に仁淀ブルーを感じながらランチなどが堪能でき、交流フロアに設置された産直コーナーでは地元で取れたお茶や野菜、惣菜類などの加工品が購入できます。

仁淀川町北浦450-2
☎0889-34-3988
営業時間／7:30～16:00 定休日／年末年始
レストラン営業時間／ランチ 10:30～14:00 (OS13:30)



つばやま 椿山
秘境と呼ばれる椿山の集落。標高約600mの急斜面に家々が肩を寄せ合い、焼畑農業が昭和50年代中頃まで行われていました。他と隔絶した地形で、壇ノ浦で源氏に敗れた安德帝と平家一行が落ち延びて来たという伝説が残っています。集落の氏仏堂では、6月に虫送り、8月になると、太鼓踊りで平家の供養をしています。

MAP P66.8-D

坂本の茶畑

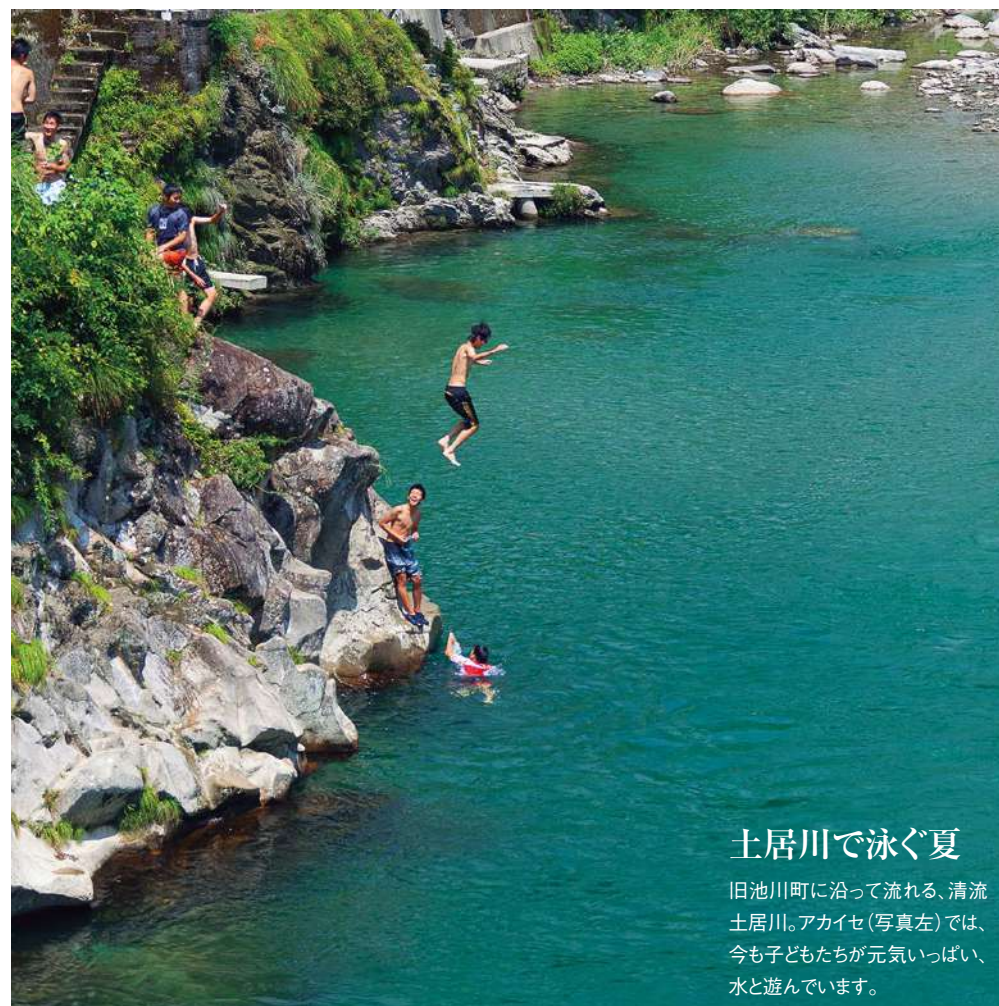
仁淀川町は県内一の出荷量を誇る茶どころ。かつては和紙の原料を栽培していた畑の多くが茶園になりましたが、古来から、野生の山茶が多い環境でした。香り高く味の濃いお茶が生産され、加工品づくりも盛んです。



詳細は P.40



土居川 エリアMAP



土居川で泳ぐ夏

旧池川町に沿って流れる、清流土居川。アカイセ(写真左)では、今も子どもたちが元気いっぱい、水と遊んでいます。

niyodogawa
town
AREA
GUIDE
Vol.02



土居川エリア

旧街道の歴史を伝え、
澄みわたる土居川

ツボイ放牧場

標高約900mの別天地。夏場は放牧しており、土佐褐毛牛がのんびり草をはんでいます。太陽を浴びて自然の草を食べ、足腰も鍛える高知方式の牧畜です。

MAP P66.6-C



奉納日／11/23、12/31、1/1 MAP P66.6-E

池川神楽

町を見おろす山上に、池川神社の壮麗な社殿が鎮座します。ここを舞台に氏子たちが4時間ばかり奉納するのが池川神楽。起こりは約400年前、豊臣秀吉の世とされます。土佐の三大神楽に数えられ、国の重要無形民俗文化財に指定。演目中「見勤の舞」は、土佐では池川神楽だけに伝わっています。

詳細は P.47

街道の関所

「松山街道」には伊予に通じる重要な関所として、用居口番所がありました。ここは幕末に田中光顕らの志士が脱藩した道です。もう一つの予土往還、旧池川町を起点とした「雑誌越え」(予州高山通り)には池川口番所があり、池川紙一揆や中島与一郎の脱藩悲話が残っています。



◆大渡ダムと 大渡ダム公園 MAP P67.4-C

水力発電や台風時の洪水対策などを目的とする、仁淀川本流で最大のダム。ダム湖は茶霧湖の愛称で親しまれ、周辺の斜面や湖畔道路は県内でも有数の桜ロードです。公園内には古民家が移築されている他、遊具やアスレチックなどの遊び場も。ダムは団体に限りですが見学もでき、職員が操作室やダム堤体内をガイドしてくれます。お問い合わせ・予約は大渡ダムのホームページから。

<http://www.skr.mlit.go.jp/oodo/>



◆秋葉の宿 MAP P67.4-C

大渡ダム湖畔を見下ろす丘に建つ静かな和の宿です。



■歴史民俗資料室

館内では、仁淀川町の古い生活道具や書画などを展示。

秋葉の宿

客室(和室8畳×2、10畳×7、12畳×1)、
宴会場(60名収容、大ホール(150名収容))
仁淀川町高瀬3869
☎0889-32-2771
レストラン営業時間／
ランチ 11:30～14:30(OS 14:00)
ディナー 16:30～20:30(OS 20:00)
休館／レストラン：月・火 休み
<https://akibanoyado.com>



MAP P67.5-E

寺村の集落

国道のトンネル上に広がる集落。くねくね道を上がってゆけば、仁淀川を眼下に、展望台から眺めたような風景が見られます。



V字峡谷

国道から見れば、仁淀川の両側に切り立った山々がV字型になっているのが一目瞭然。上流域の激しい流れによって山が削られてできあがった、V字峡谷の姿です。



久喜橋(沈下橋)

MAP P67.5-E

県内最初のアーチ型沈下橋で、昭和10年に架橋。国の登録有形文化財となっています。久喜の橋は川幅こそ広くありませんが、深いグリーンの流れ、周囲の岩と一体化したシンプルなアーチが印象的。増水時には、水中にすっかり沈むことも。釣りびとのスポットでもあり、車も通る現役の生活道です。



ひょうたん桜

MAP P66.6-E

国道から車で10分も上れば、大きな優しい一本桜に出合えます。種類はエドヒガン(ウバヒガン)で、通称ひょうたん桜とは、つぼみがひょうたん形をしているから。樹齢は推定500年。見頃は3月下旬～4月上旬。

詳細は
P.42



旧川口橋

MAP P67.5-E

橋の上は毎週土曜日が店開きする「ふれあい広場」。国道の川口橋と並ぶレトロな橋で、国指定登録有形文化財。橋脚は珍しいフランス積のレンガ張りです。



MAP P67.5-E

久喜の花桃

上久喜の手前にある地区。旧久喜小学校跡地の真向かいの山の斜面いっぱいに色の濃い花々と田園風景が楽しめる場所です。見頃は3月下旬～4月上旬。



上久喜の花桃

MAP P67.4-D

地区の人たちが15年もかけて少しずつ植えてきた、寒さに強い花桃。白、ピンク、赤の花が山里を埋める桃源郷となりました。見頃は3月下旬～4月上旬。



MAP P67.5-D

引地橋の花桃

ドライブイン引地橋の向かい側にある引地公園。緑の斜面に赤・白・ピンクの花桃が約100本色鮮やかに咲きます。仁淀川を望む絶景ポイントのひとつです。



MAP P67.5-E

寺村花の里公園

山の斜面に咲く白やピンクに染まる花桃群が見事。地区の方々手づくりの遊び心いっぱいの公園で、いつ訪れても楽しい場所です。

niyodogawa
town
AREA
GUIDE
Vol.03



仁淀川本流エリア

青き支流が注ぎ込む V字峡谷、仁淀川本流

西日本最高峰、石鎚山系に源を持つ仁淀川。松山と高知を結ぶ国道33号に沿って、深いV字峡谷を形づくりながら蛇行します。こゝは、仁淀川町の川という川が集まってくる。岩屋川、長者川、中津川、安居川、土居川といった清流が次々と仁淀川本流へと注ぎ、勢いを増します。

◆吾川スカイパーク MAP P67.5-B

本格的なパラグライダー基地。強い上昇気流に乗って、中津山(明神山)の山頂近くからスカイパークまで、充実のフライトが楽しめます。初心者向け体験メニューもあるので安心。星空を堪能するキャンプもおすすめ。映画「県庁おもてなし課」のロケ地としても有名。

パラグライダー予約／ウィンド・バルE.S.D.
☎090-3185-3655
キャンプ場など／企画振興課
☎0889-35-1082



◆夢の森公園キャンプ場 MAP P67.5-C

中津川上流の炊事場完備のキャンプ場。しもなの郷の上流域一帯を「夢の森」と呼び、体験学習の森を整備しています。※要予約

仁淀川町下名野川
集落活動センター 山村自然楽校 しもなの郷
☎0889-36-0005
http://www.shimona23.com
休業日／年末年始(12/31～1/3)



◆笑美寿茶屋 MAP P67.5-D

中津溪谷の駐車場そばに、ほっこりなごめる直販所とお食事どころが。ヒノキで作られ、溪谷に寄り添うような建物です。

仁淀川町名野川456
☎0889-36-0456
営業時間／9:00～17:00(4月～11月)
9:00～16:00(12月～3月)
定休日／不定休



◆中津溪谷 ゆの森 MAP P67.5-D

中津溪谷の入り口に建つ温泉リゾート、「中津溪谷 ゆの森」。仁淀川町産木材をふんだんに使っています。



中津溪谷 ゆの森

客室(和室10畳×4、コテージ洋室ツイン×3)、多目的ホールにてご宴会最大70名収容。
日帰り入浴・食事可。
仁淀川町名野川258-1
☎0889-36-0680
レストラン営業時間／
ランチ11:30～14:00(OS 13:30)
ディナー17:00～19:30(OS 19:00)
日帰り入浴／
11:00～20:30(最終受付 19:30)
火曜日(祝日の場合翌日)、12/31、1/1、水曜日(月2回休業あり)
http://www.yunomori.jp



◆集落活動センター 山村自然楽校 しもなの郷 MAP P67.5-C

廃校になった下名野川小学校を再生した、山村自然体験&宿泊施設。教室の一部は、快適な和のお宿となっています。



しもなの郷はミニ科学館

中津川上流で、木星からの電波をキャッチ。V字型の山に囲まれた雑音のない静かな環境が、観測に最適なのです。高知高専の「吾川木星電波観測所」はNASAのプロジェクトに参加して、世界と交流するお山の研究所。

金子直吉資料室

大正時代に三井・三菱と並ぶ巨大商社鈴木商店、その繁栄の礎は仁淀川町出身の金子直吉の功績が多いと言われています。この「しもなの郷」には金子直吉に関する書籍、年表等を集めた金子直吉資料室があります。

集落活動センター 山村自然楽校 しもなの郷

客室(和室・定員6名×4)、研修室(30名収容)、体育館あり。体験型観光メニューもあります。
仁淀川町下名野川619
☎0889-36-0005 開館／8:30～21:00
休館／水曜日(祝日の場合翌日)、年末年始(12/31～1/3)
※ご利用は予約が必要です。受付は17:00まで。
http://www.shimona23.com



中津溪谷▲お宝じまん



七福神
変化に富んだ遊歩道では、毘沙門天から始まり布袋和尚まで七福神の石像が迎えてくれます。

石柱
雨竜の滝からさらに奥、最上流に高さ20mの奇岩が。かつては鳥しか近づけない秘境でした。(上部周辺MAP ⑤)



竜宮測
雨竜の滝、上はどうなっているの？そこにあるのが竜宮測です。(上部周辺MAP ④)



MAP P67.5-D



雨竜の滝

中津溪谷・雨竜の滝

溪谷に沿って整備された遊歩道を約20分ほど進むと、雨竜の滝が目の前に迫ってきます。滝壺そのものが、紅色がかった岩でできていて、中国的な色彩とスケール感。多方向へ勢よく吹き出す水は落差20m、まさに「竜吐水」です。帯は紅葉の名所で、県立自然公園に指定されています。(左上周辺MAP ②)



名野川磐門神楽



中津川
エリアMAP

niyodogawa
town
AREA
GUIDE
Vol.04

別世界的スケール感、 入り口は中津溪谷

中津川エリア

ひとときわ高くそびえ立つ中津山(明神山)を源に、中津溪谷までの、変化に富んだ中津川の流れ。流域ではいくつもの森が迎えてくれます。アウトドアを楽しむ「夢の森公園」、そして温泉宿「ゆの森」。木星からのかすかな電波もキャッチできる、澄んだ環境が宝ものです。

◆鳥形山森林植物園 MAP P67.3-B

おとめやき
藩政時代は土佐藩の御留山として守られていました。高山植物にも出合える遊歩道が整備されています。ならかな自然林を抜ける片道30分ほどのコース。尾根には視界360度の展望台があり、石灰岩の露天掘りも眼下に眺められます。



◆星ヶ窪キャンプ場 MAP P67.3-D

長者集落の山頂部は平らな広場。隕石が落ちた跡と言われる「星の池」が中央にあり、キャンプ場として利用されています。ここには昭和34年まで草競馬のコースがあり、1万人もの観客で賑わっていました。



◆集落活動センターだんだんの里 MAP P67.3-D

棚田の風景を一望できる場所で、地元産の米や野菜などを使用したランチメニューや地元婦人が作ったケーキ、お菓子が味わえる農家レストラン。施設の前にある広場では、1年を通じて多彩なイベントが催されます。

仁淀川町長者乙2546-11
☎0889-32-1833 営業時間／9:00～15:00
定休日／月・水・金・土・日曜日
※土・日についてはお問合せください。



◆長者 de キャンドルナイト

棚田のあぜ道に約2,000本（開催年の数字と同じ）のキャンドルを並べ、ライトアップします。イベントや地場産品の販売も行われます。11月上旬開催。



谷山大師堂の火回し MAP P67.4-D

8月15日、お盆の宵に行われる火回し。地区の男衆が交替でロープの先に松明を付け、勢いよく振り回します。火の粉を上げてビュンビュンと輪を描く炎に、浮き世を忘れるひととき。大師堂の道は藩政時代の街道で、明治までは茶店もあるにぎやかな場所でした。



長者の大銀杏 MAP P67.3-D

樹齢は1,200年と言われ、長者地区を守るかのように立つ銀杏の巨木です。火災や台風にも負けず、命をつないで来ました。樹高約15m・根回り11.6mで、県指定天然記念物。



上川渡大師堂 MAP P67.4-C

藩政時代から、お遍路さんや旅人を茶菓でお接待してきた棚田の里、上川渡。今も7月最初の日曜日に茶堂開きをし、虫おくり後8月上旬頃まで、真夏のお接待が続けられています。

お盆のバショウと法界様

上川渡の集落にはバショウが植えてあります。8月のお盆にはこの葉で盆棚を作り、野菜や花を供えて先祖の魂を祀ってきました。足の速いキュウリの馬に乗って来て、ナスの馬でゆっくりあの世へ帰ってゆく、ご先祖様。14日の迎え火と16日の送り火は、青竹の先に松明を立てた「法界様」。夕暮れの棚田に、ぼつぼつ灯る火が見えるかもしれません。



長者の棚田と集落
1,200年昔、阿波から来た長者さまにちなんで名づけられたという「長者」。国道沿いの長者川から見上げると、棚田と斜面に張り付いた集落が日本のマチュピチュとも呼ぶたい景観を呈しています。鳥形山の日鉄鉱業で働く人々も多く、県内で最奥地の企業城下町でもある集落。

鳥形山 MAP P67.3-B

鳥形山は国内トップクラスの純度を持つ石灰岩のかたまり。昭和46年に採掘を開始。露天掘りの産出量は日本で、国内の他、オーストラリアなど海外へも輸出しています。開発前に1,459mあった標高は、採掘によって約200m低くなりました。



泉番所跡 MAP P67.3-C

藩政時代の泉村の内番所として通行人の取り締まりをしていました。2019年には、かやぶきの屋根をガルバリウムに改修しています。



niyodogawa
town
AREA
GUIDE
Vol.05

長者川エリア シンボルは鳥形山、 豊かなる長者川に遊ぶ



国道439号、通称ヨサクは長者川をさかのぼり、森や長者の町を抜け、四国カルストの津野町へ。水量豊かな長者川のみなもととはカルスト台地、清流仁淀川のもう一つの源流域と言われます。石灰岩の露天掘り鉱山、鳥形山。残された自然の森を歩けば、貴重な植物にも出会えそう。

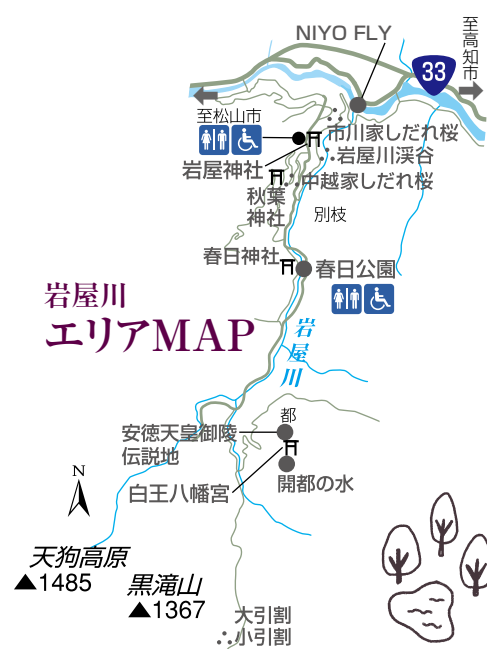
巨岩ごろごろ岩屋川溪谷 秋葉まつりと桜の里へ

巨人が川床へ岩塊を投げ込んだごとく、驚異的な奇岩が連なる岩屋川溪谷。岩屋川の源流は鳥形山系に発し、仁淀川本流へ。溪谷入り口の鳥形橋からさかのぼれば、秋葉への道と合流します。山里に冬の終わりを告げる秋葉まつりの行列、そして中越家や市川家の二本桜を堪能する、春の訪れ。

秋葉まつり

防火の神様として信仰される秋葉神社での盛大なお祭り。3つの奉納組で構成される行列がにぎやかに練り歩き、鳥毛ひねりの妙技や神楽、太刀踊りなどを披露します。大祭のクライマックスは、200人の行列と神輿が秋葉神社へ帰る2月11日。途中、市川家や法泉寺などに立ち寄ります。

詳細は
P.50



大引割・小引割

MAP P67.2-A

大引割とは、標高1,100mの山頂に出現した巨大な岩の裂け目。原生林の崖っぷちに立つと、長さ60〜70m、最深で40mもの亀裂が口を開けているのです。回り込めば正面方向から見えますが、底へは降りられません。近くには小引割もあります。国の天然記念物に指定されており、亀裂が埋まらずに残っている、全国でもまれな場所。鳥形山と黒滝山の間、天狗高原からの遊歩道終点にあり、駐車場を備えています。



岩屋川溪谷

MAP P67.4-B

四国カルスト県立自然公園の一面を占める岩屋川溪谷。この遊歩道は冒険心をくすぐる道です。巨大な奇岩に砕ける澄んだ流れの間をぬって、名勝を巡ってみましょう。なかでも最大の淵「音釜」には、織姫の伝説が残っているそうです。「鬼が岩」「ひょうたん淵」など、見どころ豊富な溪谷です。



岩屋神社

MAP P67.4-B

秋葉まつりの初日、秋葉神社を出たご神体は岩屋神社で一泊します。ご神体はかつてこの不動岩屋に祀られ、後に法泉寺、市川家で奉祀されていた歴史があるのです。



安徳天皇御陵 伝説地

MAP P67.3-B

伝説によると、安徳帝は都にて18歳で崩御したことを伝えています。地区の人たちが2001年に碑を建てており、前の広場は太鼓踊りの舞台。乳母を祀る祠が傍らにあり、悲しみを誘います。



都の太鼓踊り

MAP P67.3-B

この地へ落ち延びてきた平家一門により伝えられたと言う太鼓踊り。旧暦8月22日、白王八幡宮で神事後、安徳帝ゆかりの皇陵塚前で輪になって踊り、悲運の貴人たちを慰めます。



開都の水

MAP P67.3-B

主家川のせせらぎが注ぐ石の水槽が、都集落の中心部にあります。ここに安住の都を求めた平家の人々をしのぶ水辺です。



中越家のしだれ桜

MAP P67.4-B

旧庄屋で秋葉神社宮司を務める中越家の庭に咲く、樹齢約200年のエドヒガン(ウバヒガン)桜。瀧のようにしだれ落ちる姿は妖艶な魅力。この庭で秋葉まつりの練りも行われます。



詳細は
P.44



春日公園

岩屋川溪谷の上流、春日神社前の中州にある公園。岩に映える紅葉はひととき美しく、溪谷の散策にもおすすめ。快適なトイレを備えています。

仁淀川町の平家伝説

別枝の奥に、都という地名があります。ここは壇ノ浦で源氏に敗れ、四国へ潜行した安徳帝と平知盛ら平家の人々が暮らした行在所だったそうです。都集落の開祖である山内伸助は、帝に付き添った忠臣だと伝えられる人物。都と越知町の横倉山(安徳帝御陵参考地)を結ぶ古い道も残っています。

市川家のしだれ桜

MAP P67.4-B

代々関所番だった市川家の庭先に咲く、樹齢70年ほどの優美なしだれ桜。秋葉まつり大祭前夜にはご神体が宿泊する由緒ある旧家です。桜の時期には庭を開放しています。



詳細は
P.44

仁淀川町の歴史と文化にふれる旅

安徳帝と平家落人伝説



都や椿山などに残る、雅な記憶。

栄華を誇った平家一門。平清盛の死後、屋島の合戦などで源頼朝の討伐軍に敗れた平家は、1185年、長門の壇ノ浦で滅亡します。この時、建礼門院が抱いて入水したのは身替わりの帝で、幼い安徳帝は平家の武将らと四国の山中深く潜行したという平家落人伝説を辿ってみましょう。



都の御陵伝説地。



安徳帝をしのぶ都の太鼓踊り。



頭には饅頭笠、太鼓のバチは房で飾ります。

には安徳帝、平知盛、平教盛ら7名が祀られています。その後、下名野川を経由し、都に行在所を開いたということです。都の「主家屋敷」、西森家には、平家の家紋である扇が伝わっています。

す。また、都と越知町の横倉山を結ぶ古い道沿いには、中宮など高貴な地名が残り、秘められた平家哀史は脈々と受け継がれてきました。

歴史・文化の魅力発見

ここ優しき番人 用居の番所跡

松山街道の途中にあった、用居口番所。ここのお役人は昼休みのふりをして、脱藩の志に燃える志士たちを通してくれたとか。跡地に碑あり。



仁淀川に掛かる大崎橋の付近は、元の船着き場。大正時代まで舟運が盛んで、紙の原料などを下流へ運ぶ舟や、木材を運ぶ筏でにぎわいました。



水運で栄えた仁淀川 大崎の船着き場跡

匠の技にほれば 長州大工の神社彫刻



椿山に近い百川内の河嶋山神社は、1832(天保3)年の建立。伽藍形式の壮麗な建築で、長州大工たちの装飾彫刻がみごと。彼らは周防大島から来て、仁淀川町に数々の名建築を残しました。

南国に厳寒の秘境 赤滝・白滝

かつて銅山があった長坂山。ここに厳冬期出現するのは、凍り付く2つの滝。この滝を観光する登山ツアーがあります。落差30mの赤滝まで約2時間、大自然の神秘を堪能してみませんか。

※登山道の案内は山村自然楽校「しもの郷」へ問い合わせを。



赤滝



白滝



鈴ヶ峠に残る燈明台 松山街道

高知の城下から越知、仁淀川町北部(旧池川町)を通して伊予側の久万、三津浜に至る松山街道。鈴ヶ峠には当時の燈明台が残っています。旧伊予街道往還のにぎわいも、今は昔。

山のてっぺんに競馬場 星ヶ窪

大昔に隕石が落ちた跡が池になった、という伝説が残る長者集落の山頂。ここには西日本最大規模の草競馬場がありました。琴平神社に奉納するため、1899(明治32)年に馬場が作られたのが始まりです。最盛期の人出は1万人、出走馬は100頭近く、山も震える熱気でした。



民家で大切に保存 ニホンオオカミの頭蓋骨



谷山の片岡家では、天保年間(1830-1844)にご先祖が仕留めた狼の頭蓋骨を保存。23.5cmではほぼ完全な形を残し、全国にある約20体の中でも最大級。8〜10歳のオスと考えられます。 ※非公開

子宝を授かりたい どうろく様

安居渓谷内にある、子宝のごりやくさん。大きな岩が目印。昔、妊婦を守って狼と戦った男を祀っています。



県内最古の木造仏 養花院の仏像

竹ノ谷の養花院は京都の竜安寺境内から1892(明治25)年に現在地へ移ったお寺。ここに伝わる木造菩薩坐像は、2010年に国指定重要文化財となりました。像高は25.7cm、鑑真和尚が伝えた奈良時代の様式を示すという貴重な像です。 ※御開帳 10月1日 10:00〜15:00



戦国武将・武田信玄の四男、武田勝頼は織田信長との戦いに敗れ、1582(天正10)年、37歳の若さで自害したはず。ところが、勝頼が土佐の香宗我部家を頼って落ち延び、大崎の開祖となった伝説が、色濃く残っています。勝頼は大崎玄蕃と改名して、64歳の天寿を全うしたというもの。墓所など、ゆかりの史跡が近隣各地に点在しています。

「武田勝頼土佐の会」会長の岡林照壽さんによると、代々宮司として守ってきた大崎八幡宮(川井神社)は勝頼の建立。そこで踊ったのが、現在も残る玄蕃踊りです。2009年には勝頼の没後400年祭を開催。各地の武田の里と交流が始まりました。



勝頼の墓所と伝わる鳴玉神社。

を開催するなど、勝頼伝説を生かした町おこしに取り組んでいます。

武田勝頼伝説

よみがえる戦国武将、第二の人生！



史跡ガイドは 武田勝頼土佐の会 ☎0889-20-2003まで。





◀ お茶のスイーツ

高知県一のお茶の産地、仁淀川町では、お茶を使ったスイーツが花盛り。北部地区(旧池川町)では茶農家の女性たちが、プリンやケーキなど洋菓子を中心に手づくり。お店には仁淀ブルーを眺めるカフェも併設。また、沢渡地区では若手茶農家が作る大福やゼリーなどが話題を呼んでいます。



◀ いりもち

香り高いよもぎの餅に小豆あんを入れて焼いたお茶の友。よもぎは万病の生薬と言われる、家族の健康を願って作られてきました。



◀ 田村かぶ

仁淀川町中部田村地区原産の伝統野菜、田村カブは、皮が赤紫色をしています。江戸時代から地元で細々と栽培されてきました。ここ数年、有志の手で販売先を増やすなどの活動が成果を上げ、栽培が増えてきています。



▲ 川魚

仁淀川とその支流は、アユやアメゴの成長にとって理想的な環境にあります。香ばしい塩焼きや甘露煮、寿司などでいただきます。



この土地ならではの個性的な味。
身体はもちろん、心の栄養にもなる
ごちそうがたくさんあります。

川町の そう

wonderful trip

Let's make a

清流仁淀川と豊かな森は、
多様な食文化も生み出しました。
昔から伝わる素朴な味や

高糖度トマト▶

通常、冬から春に作られる高糖度トマトを、夏山の冷涼な気候をいかして夏から秋に収穫できる栽培方法を確立。甘さとコクが自慢です。



◀ 仁淀川きくらげ

仁淀川町の標高700mに位置する大自然の中で消毒は一切使用しないで通年栽培をしています。肉厚でプリプリとした食感が特長です。



▲ 田舎こんにゃく

北部地区(旧池川町)の伝統が受け継がれる、お山の田舎こんにゃく。秋に収穫したこんにゃく芋で作ります。素朴な製法で、一つひとつ手で丸めるこんにゃくは、風味が良く滑らかな食感。黄色はキビ入り。その昔はハレの日のごちそうでもありました。



◀ 山菜

山の急斜面を生かした菜園で、ゼンマイやワラビ、ウドを育てています。沢のきれいな水で栽培するワサビも自慢の特産品。県民食ともいえるイタドリも豊富にとれます。

▶ 田楽

里芋や豆腐、こんにゃくなどに味噌をぬって囲炉裏でこんがり焼いた伝統料理。山里を代表する香ばしく懐かしい味です。



▼ クラフトビール

仁淀川町の山からの天然水と、地元で採れた茶葉・さつまいも・山椒・生姜などの農作物を使って造られています。





建材と木工品

南国の太陽と豊かな水で育ったスギやヒノキは良質な国産材として評価が高く、住宅建材やログハウス、木工品となって全国に出荷されます。仁淀川町にはヒノキのスノコ生産日本一の企業があります。



サカキとシキビ

どちらも常緑広葉樹で通年出荷されています。栽培に適した気候条件のもとで、丹精込めて育てられています。



100%県内産天然素材の調湿用竹炭と原炭



竹



ツボイ放牧場

標高約900mの涼しい気候を生かしながら、夏山冬里方式で肉用牛を飼育。高効率で高品質な畜産が行われています。



鳥形山石灰石鉱山

全国屈指の露天掘り石灰石鉱山です。山全体が石灰岩で総埋蔵量は16億トン。操業開始以来、約4億トンの石灰石を産出しています。※開発前に1,459mあった標高は、採掘によって約200m低くなりました。

竹炭

仁淀川上流域の蛇紋岩が多く含まれた急峻な地形は、竹炭の原材料となる孟宗竹にとって最適の生育環境にあります。竹炭になるのは厳選された3年生以上の親竹。特殊な赤土と石で造られた昔ながらの土窯を使つて、800〜900度の高温でじっくりと炭化させてゆきます。こうして作られた高品質の竹炭には優れた働きがたくさんあり、木炭をはるかに凌ぐとも言われます。よく知られているのが臭いの吸着効果で、竹炭特有の微細孔と活性ケイ酸が臭いを吸着し、強い脱臭効果を長時間持続します。また、水の浄化や腐敗の抑制、調湿、虫よけなど用途もいろいろです。この確かな品質と脱臭効果がろ過材として認められ、大手酒造メーカーのサントリーがウイスキーや発泡酒造りに採用。これが大ヒット商品となり、仁淀川町の竹炭は、全国ブランドとして知られるようになりました。

紙

岩戸の手漉き和紙

4代目、片岡あかりさん、久直さん夫婦。



和紙

「土佐清帳紙」は、「千年長持ちする紙」と言われるほど耐久性に優れ、商屋の大福帳や寺院の過去帳などに重宝されてきました。この技術が古くから伝わる岩戸に、家族で紙づくりを行う工房『尾崎製紙所』があります。尾崎製紙所4代目の片岡あかりさん・久直さん夫婦は父の尾崎孝次郎さん（土佐の匠）、母の文故さん（元伝統工芸士）から土佐清帳紙（県文化財指定）の技術を受け継ぎました。毎年、紙づくりが始まるのは1年のうちで最も寒い冬の時期。ゴウゾを蒸して皮を剥ぎ、加工をして水に浸け、煮て流水にさらし、チリ取りをして叩解して和紙の原料を作ります。いくつもの工程を手作業で行いながら、植物が少しずつ紙へと近づいていきます。そしてい

よいよ紙漉き。漉くのはあかりさん。漉き簀の中の波の揺れや厚みに気持ちを集ませながら、熟練の技で漉いてゆきます。そのあと日当たりの良い山の斜面に運ばれ、久直さんが紙を1枚1枚、松の板に藁刷毛で貼り、天日乾燥をして完成です。独特の質感と温かな色合いは、書家や版画家、工芸作家の間で人気が高く、ファンは遠く海外にも。

平成28年、同じ地区の眺望の良い場所に、尾崎製紙所の和紙を使った作品を展示、販売するアトリエショップをオープン。和紙を求めるお客さんと顔を合わせての交流を楽しみ、またランブシェードや手帳作りのワークショップを開催し、土佐和紙の魅力を伝えていま

古くからの伝統を受け継ぎ、技術を磨く人がいます。新しいものを生み出しながら、高みを目指す人がいます。ものづくりは、手にする人の笑顔がエネルギーです。

自然が息づく
いとなみ
Community goods





中津溪谷 ゆの森

map P67 5-D

露天風呂から星が降る温泉リゾート、安らぐ和室とコテージ。宿泊者専用の2階レストランは和食をご用意。客室(和室10畳×4、コテージ洋室ツイン×3)。

●仁淀川町名野川258-1
☎0889-36-0680
レストラン営業時間／
ランチ11:30~14:00(OS 13:30)
ディナー17:00~19:30(OS 19:00)
日帰り入浴／11:00~20:30(最終受付19:30)
休館／火曜日(祝日の場合翌日)
水曜日(月2回休業日あり)、12/31、1/1



時を忘れ、心ほどける温泉とグルメの旅



秋葉の宿

map P67 4-C

大渡ダムの広い湖畔風景を一望に。山河の新鮮な食材を使った和食を中心としたメニュー。皿鉢料理は要予約。客室(和室8畳×2、10畳×7、12畳×1)、宴会場(60名収容)、大ホール(150名収容)。

●仁淀川町高瀬3869
☎0889-32-2771
レストラン営業時間／
ランチ11:30~14:30(OS 14:00)
ディナー16:30~20:30(OS 20:00)
休館／レストラン：月・火 休み



ひろびろパラマ旅、優しい和のおもてなし



泊まりたくなる

仁淀川町

自然や歴史探訪を満喫したら、山の“おいしいもん”で、くつろぎ旅。



山里と人の温もり旅、もうひとつの故郷



集落活動センター 山村自然楽校 しもの郷

map P67 5-C

小学校を再生した、山村自然体験の宿。客室(和室・定員6名×4)、研修室(30名収容)、体育館あり。石窯ピザづくりやいりもちづくりなどの体験メニューもある。

●仁淀川町下名野川619
☎0889-36-0005
開館／8:30~21:00
休館／水曜日(祝日の場合翌日)
年末年始(12/31~1/3)
※ご利用は予約が必要です。
受付は17:00まで。



季節の溪谷を満喫してしっとり、ほのぼの旅



安居溪谷 宝来荘

map P66 8-E

せせらぎに寄り添う宿とバンガロー。素朴な山の幸・川の幸でおもてなし。お昼ご飯にもおすすめ。客室(和室6畳×3、10畳×2)、バンガロー(4~10名まで)×13、研修室(和室・60名収容)。

●仁淀川町大屋1627-4
☎0889-34-3719
開館／9:00~21:00
レストラン営業時間／
11:00~14:00
休館／不定休



見どころ立ち寄りどころ

藩政時代から続くお接待

上川渡大師堂 map P67 4-C

棚田の連なる上川渡集落の中腹にある大師堂では、夏の間、地域の人たちがお茶の接待をしています。7月最初の日曜日に茶堂開きをし、虫おくり後8月上旬頃まで。どなたも気軽にどうぞ。



一服の新茶、
その香気は山を語り
人を癒やす。



若い茶農家が奮闘、
お茶と秋葉の里よ永遠に。

沢渡地区にあるお祖父さんの茶畑を受け継いで、高知市から家族で移住した岸本憲明さん。大工さんからの転職です。谷脇さんたち先輩も、若くしてお茶専業を宣言した岸本さんを温かく見守っています。助け合う輪の中に生まれた、明るくて力強い新芽。岸本さんは、地区の10年後を見据え、美しい茶畑のある沢渡の風景や文化を守り、再びお茶でにぎわうようにと奮闘中です。会社を立ち上げ、お茶のスイーツやギフトなど六次産業化を進め、海外への輸出も始まっています。

ここは秋葉まつりを担う3地区の一つ。岸本さんはかつて花形の鳥毛役も務めており、地域を盛り上げる活動に情熱を注いでいます。



春
夏
秋
冬
syun ka syu to

茶
cha



お茶どころ、仁淀川町。
町内各地に茶畑があつて、
それぞれ個性派ぞろい。
香り強く、味は濃く、
一杯の土佐茶が語る、
土地への愛着、こころ映え。
仁淀川水系の自然とともに。



仁淀川水系の斜面は、
お茶を育むゆりかご。

南国土佐のお茶どころとして知られる仁淀川町。土佐茶のなかでもひときわ力強いテイストで、香りが強く、旨味の濃いお茶が自慢です。茶畑は町内の各地に広がっており、お茶の公的な試験研究機関は県内で仁淀川町にしかありません。

緑の水辺に映える、斜面のお茶畑。この美しい風景は、栽培に最適な環境から生まれました。昼と夜の寒暖差の大きさ、石灰質などミネラル豊富な秩父古成層の土質、短い日照時間など、天の与えた自然条件に恵まれています。年間3千ミリの雨に洗われる岩がちな斜面は水捌けがよく、お茶にはぴったり。川からの霧は、朝夕にしつとりと畑を覆って、春先の霜からも守ってくれます。

嬉し忙し、新茶の季節
歴史あるお茶づくり。

4月の中旬には待ちかねた新茶の季節を迎えて、茶摘みは地区総出の助け合い。新芽がすつと上へ伸びてきたら、先から葉っぱ3枚分だけを摘みます。お茶の木が蓄えてきた生命力が詰まった芽です。



400年以上前文献「長宗我部地検帳」によれば、お茶と楮（紙の原料）が、別枝地域の基幹作物となっていました。古くは千年以上も昔、弘法大師が修行に訪れ、野生の山茶で喫茶法を教えたという伝説も。いつの時代からか地区に伝わる、古い茶臼も歴史の証人。花取踊りの歌詞には「挽けひき木 まわせ茶臼 ざんざとおろせ粉の茶」とあって、お茶との深い結びつきがうかがえます。

沢渡地区は1913（大正2）年、当時主流だった釜炒り茶に代わり、画期的な製法だった、手揉みの緑茶を取り入れた先進地です。生産者の谷脇洋輔さんは、森林組合の職員から転職し、茶園を開拓してきた苦労人。栽培管理を生産者が徹底することで、毎年品質を保ち、さすがと言われる味に育ててきました。自分の舌でお茶の味を確かめるのが谷脇さんの日課となっています。



「ひょうたん桜」
四国山地の女王様。
ふるさとは
類まれなる桜樹とこころ優しい桜守。

春
夏
冬
秋

syun ka syu to

桜

sa ku ra



このはなさくや、一本桜。
忘れられない桜が、
呼んでいます。
山里でたおやかに
時を重ねて花びら揺れる、
春が来ました。



► ひょうたん桜 map P16 6-E

つぼみがひょうたん形をしたエドヒガン(ウバヒガン)。樹齢約500年、樹高21m、根回り6m。1953(昭和28)年、県天然記念物に指定。花は小ぶりで上品、樹勢いまだ旺盛。見頃は3月下旬～4月上旬。



つぼみは途中でくびれて膨らむ、ひょうたん形

見どころ立ち寄りどころ



湖面にソメイヨシノの春霞

大渡ダム湖畔の桜並木

map P67 4-C

ダム南岸の小道や斜面に、約1,600本のソメイヨシノが咲き誇ります。湖面や茶畑の緑とのコントラストが映えるドライブコース。見頃は3月下旬～4月上旬。



清流と町並みをしっとり彩る

ふれあい公園の桜並木

map P66 6-E

土居川に沿った堤に、ソメイヨシノの並木が約800m連なります。花びらが澄んだ水辺に浮かぶ様子は、町の中とは思えないほど。見頃は3月下旬～4月上旬。



2012年春、公園内で宇宙桜の植樹が行われました。米スペースシャトルに乗って宇宙を旅してきた、ひょうたん桜の子どもたちです。

500年の桜と寄り添う里、「桜」。
樹の下で桜を愛でるのは、桜守の皆さん。ひょうたん桜にちなんで、地名は1958(昭和33)年に大藪から「桜」となりました。代々の区長さんが桜守です。地区の人たちみんなにとって、お父さんのように頼りになる存在なのです。
桜より早く顔を出す菜の花は、仲間の山崎豊勝さんが植えました。周囲には桜の若木などを、皆で少しずつ植えています。

地区の子どもはみな、この桜と緒に遊んで育ちました。かつては山へ行く人が行き交う4つ辻で、夏は木陰が涼しい休憩場所となっていました。

大崎玄蕃の願いを宿し、
みごと花開く。

桜の木の大きな根元には、しめ縄と小さな祠があります。戦国の世の終わりを、この地に移り住み、始祖となった大崎玄蕃が、大山鎮めの祭祀を執り行つたと伝わっています。山の神に祈り、山里の桜に子々孫々の繁栄を託した玄蕃の思いが、幾百年の時を経て、みごと成就したかのようです。四国山地の女王とも呼ぶたい大樹の姿となつて。花の房をうつくまらした風格ある姿に、古い物語がいつそう身近に感じられます。



仁淀川町役場側の上がり口



花と人とがふっと微笑む。
しだれる瀧の花ざかり。

春
冬
夏
秋

syun ka syu to

桜
sa ku ra

【市川家のしだれ桜】

旧家の庭に腕を広げる優美な桜のドーム、樹下に憩う春。

庭先で出迎えてくれる、しだれ桜のドーム。白い火花が散るように、地面まで届いています。現在は市川家の14代当主、市川満房さんが桜を世話しています。昭和30年に桜が植えられた時は、苗木は背丈ぐらいいでした。土地がよほど桜に合うのか、成長は早いそうです。

秋葉まつりのお神輿が通る時は、枝を束ねておくほど、八方にバ



市川家のしだれ桜
◀ map P67 4-B
樹齢約70年。樹高9m、根回り1.4m。見頃は3月下旬～4月上旬。

【中越家のしだれ桜】

春を謳歌する競演、中越家と市川家のしだれ桜。

勇壮な練りで知られる秋葉神社のお膝元、代々秋葉神社の宮司を務め、佐川領主の深尾公が休憩された中越家の庭で、200年の時を刻む、しだれ桜。春を謳歌するように古い屋敷の庭から枝を伸ばし、降り落ちる花の滝は、夢幻・幽玄の世界。雪の残る2月11日に行われる秋葉まつりの練りでは、この庭や前の小道を華やいだ200人もの行列が練り歩き、鳥毛ひねりの妙技も披露されます。

この中越家と、少し離れた市川家には、桜の取り持つ縁があります。市川家は藩政時代の関所番で、秋葉まつりの前夜には御祭神のお宿になる旧家です。そちらの庭にあった先代の桜は、樹齢300年の美しいしだれ桜でした。その子が、中越家の桜です。そして、現在の市川家にある桜は、中越家の桜の子、つまり先代桜の孫に当たります。中越家から戻ってきた、実生の桜です。



▶ 中越家のしだれ桜
map P67 4-B
樹齢約200年のエドヒガン(ウバヒガン)。樹高1.5m、根回り4.5m。町指定天然記念物。見頃は4月上旬。

【寺村花の里公園の花桃】



map P67 5-E

【久喜の花桃】



map P67 5-E

静かにたたずむ山里に、桃源郷が現れる

春
冬
夏
秋

syun ka syu to

花桃

満開となるのです。はじめは5株ほどでしたが、約15年の間に数千本にも増えました。赤、白、

ピンクの色合いが集落を包み込む様子は圧巻で、息をのむほどの美しさ。いまでは県内屈指の花の名所として知られ、多くの観光客が訪れるようになりました。近くには

上久喜・久喜・引地地区などでは毎年4月になると、まさに桃源郷と呼ぶに相応しい風景が広がります。新しい名所になれば...と地区の人たちが植栽してきた花桃が

【上久喜の花桃】



map P67 4-D

【引地橋の花桃】



map P67 5-D



花桃&バラマップ

春
冬
夏
秋

syun ka syu to

バラ

咲き誇り香り立つ、愛好家たちの庭へ

仁淀川町では華やかなバラを鑑賞することもできます。見られるのは、竹ノ谷地区で暮らすバラ愛好家の山中さん、山尾さん、伊藤さんがそれぞれ一般公開する自宅の庭。丹精込めて育てられた赤やオレンジ、ピンク、白といった多彩な色の品種が、時期を少しずつしつ、次々に満開を迎えます。5〜6月と10〜11月に咲き誇り、なかでも5月の特に色鮮やかな競演が見事です。なお、同地区の道は狭く、来客用の駐車場はないので、池川中学校体育館横の駐車場などに車を停めて、集落をお散歩しながらお訪ねください。



あまのいわとひらきのまい
天磐戸開舞



AR
movie

神も人も、舞い遊ぶ。

春
冬 秋
syun ka syu to

神楽
ka gu ra

古式ゆかしい3つの神楽。

冬の訪れを告げるころ、

にぎやかなお囃子に誘われて

舞殿を彩る、神と人との神楽舞。



【池川神楽】 ◎ いけがわかぐら

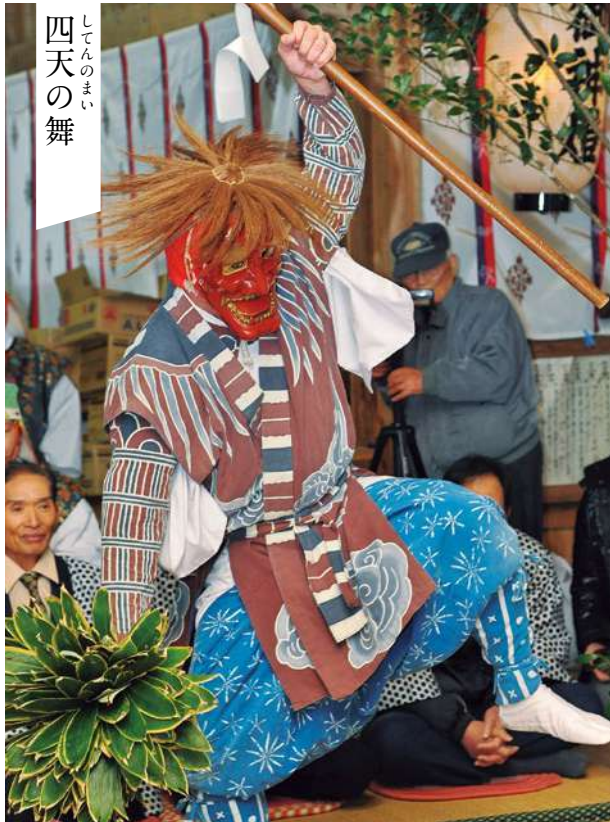
雅を伝えて400年。

「土佐三大神楽」のひとつ。

魂を揺さぶるお囃子が鳴り響くなか、
14もの演目が披露されます。



こぎんのまい
児勤の舞



してんのまい
四天の舞



写真中／棒をかざして暴れる大
蛰。恐いけれどユーモラスなところ
もあり、抱き上げてもらった子ども
は元気に育つとか。下／雅やかな
四天の舞。池川神楽は3神楽の中
でも烏帽子の形が特です。

国指定重要無形民俗文化財
池川神楽
map P66 6-E
●11月23日 池川神社 奉納
●12月31日 池川神社 舞納め
●1月1日 池川神社 舞始め
(Pあり)

い白紙を切り抜いた白開が下が
つています。天体の動きを表す東
西南北の方位を正確に踏みなが
ら交差し、時に静かに、時に乱れ
舞い、幽玄な中にユーモアも交え
た神楽の世界。

池川神楽では舞殿を祓い清め
る宮祓いから始まり、八百よろず
の神を迎える神迎の舞・四天の
舞、最後が大神立の儀、これで太
平楽となり、13演目の舞納めま
で4時間ほど要します。観客も
拝殿に上がって舞台を囲むうち、
いつのまにか、お囃子のリズムや舞
太夫たちと心が一体になるのが感
じられることでしょう。

静かな児勤の舞は、翁独特の
所作が見もの。舞太夫は太鼓の
合間に唱文を密唱しています。
また、四天の舞では合戦の場面
が見せ場です。大蛰という鬼神
が暴れ回りますが、その後、四天
王と和議が成立すると、子ども
を抱き上げたり、餅投げも行わ
れます。



生命力あふれる舞いが圧巻。
溪谷近くに立つ2社が
1年ごとに舞台となります。



【安居神楽】

◎ やすいかぐら

舞出しの安居神楽、
歌う言葉も美しく。

1790(寛政2)年の神楽
本が残る、安居の神楽。神楽太
夫が主体となつて伝承してきま
した。近年では地元外からも舞
い手を募集するなど、継承に力
を注いでいます。

2011年の舞台は熊野神
社でした。15演目の中ほどで舞
われる舞出しの舞は、安居神楽が
「舞出しの神楽」とも呼ばれる
ゆえん。天照大神と、岩屋開きに
活躍した神々が登場します。

夜の練習は、いろりを囲んで田
楽などで腹ごしらえをしてから。
中学生もいて、若い世代と大人
たちが自然に会話し、子弟の絆
が生まれる練習の日々が、本番の
背景にありました。

盛り上がる和卓の舞。両手そ
れぞれに盆を持ち、スピード感いっ
ぱいに回転しながら落とさずに
舞う、力技です。中学生から大
人まで、この舞に挑戦する舞い手
がみごとに演じきると、おひねり
が渡されます。

ベテランの舞太夫による薙刀の
舞では、頭上で軽妙に操る刀の
きらめきに目が吸い寄せられま
す。「なぎの葉の遊ばせどころは
どこどこや 腰のまわりで遊ばせ
たもう 乱れ拍子に遊ばせたも
う…」神楽歌が響き、人の子ら
が神の前で遊び興じ、神を喜ば
せるという神楽の真髓が伝わって
きました。



国指定重要無形民俗文化財
安居神楽
map P66 7-E
●12月 8日 八所河内神社(偶数年)
●12月12日 熊野神社(奇数年)

春
冬
夏
秋
syun ka syu to

神楽
ka gu ra

ときに激しく、ときに優しく…。

【名野川磐門神楽】

◎ なのかわいわたかぐら

調子の異なるお囃子に
合わせた舞いが見事です。



伊勢神宮より伝わる
平家落人たちの神楽。
平家落人であった古味式部の
子孫・日浦小太夫が、400年
前に伊勢神宮へ赴き、神楽の技
と作法を習つて創始したと伝え
られる名野川磐門神楽。その流
儀にない、演目の順も大切に、
東西南北をしっかりと決めて舞わ
れています。

奉納の場所が多いのも特長
で、毎年7〜8カ所の神社で演
じられます。今は昼に舞います

が、昔は皆で荷物を背負つて神
社へ行き、夕方からの夜神楽と
「お客」でした。泊まって起き
たらふとんに雪が積もっていたこと
もあったそうです。
舞ごとにお囃子のリズムに少し
ずつ変化をつけるのが、名野川の
こだわり。天照大神を岩屋から
呼び出す宇受姫の舞では、踊り
上手でひょうきんな女神が、草の
輪をたすきがけして、勢いよく中
央で回転し、アップテンポのお囃
子が盛り上げます。

真剣を使う四天の舞も気合い
が入る演目。魔力のある棒で脅
す大蛭と打ち合うチャンバラもあ
り、剣で切れた5色の紙がちぎ
れ飛び、神様と大蛭の問答が続
きます。やがて大蛭は屈し、7つ
の宝を差し出すのです。

終盤で登場する福々しい笑顔
の大国主は、観衆の心を和ませ
る喜劇役者でもあります。



国指定重要無形民俗文化財
名野川磐門神楽

●11月〜12月、菜野河神社(峠ノ
越)、大山祇神社(上名野川)、二
所神社(下名野川)他、計7〜8社
で奉納。(Pあり)

仁淀川町に伝わる 伝統行事

今も伝わる古式ゆかしい
各地区での行事



もの悲しくも美しい
椿山太鼓踊り
map P66 8-D
開催地／氏仏堂(Pあり)
●8月、9月、6月20日虫供養
篝火を囲んで平家のご先祖を
供養する宵。



勢いよく回す迎え火
谷山・お盆の火廻し
map P67 4-D
開催地／
川渡の谷山大師堂(Pあり)
●8月15日
地区の男たちが松明を振り、
ご先祖を迎えます。



安徳帝をしのび数百年
都の太鼓踊り
map P67 3-B
開催地／
安徳帝皇陵塚前(Pあり)
●旧暦8月22日
落ち延びた安徳帝一行が
伝えたという風流な踊り。



奇妙な花嫁行列が見参
佐婆為神社の祭礼行事
map P67 4-D
開催地／
佐婆為(三倍)神社(Pあり)
●11月3日
太鼓に呼ばれ、上の鳥居から花嫁
が天狗たちに先導されてきます。



※現在は行われておりません

鳥毛姿で舞う太刀踊り
川又の花鳥踊り
map P67 2-C
開催地／川又八所神社(Pあり)
●秋の大祭に奉納
戦国時代、敵を油断させるため
に舞ったといわれ、江戸時代に
この地に伝わったとされている。



秋葉神社の境内



神幸行列



神輿



鳥毛ひねり

春夏
冬秋

syun ka syu to

秋葉

a ki ba ma tsu ri

まつり

土佐三大祭りの華、大名行列の役者たち。

ほら貝の音が響き、上下に揺れる黒い鳥毛が見え、柳や幟を掲げて、神輿や獅子のにぎやかな練り（おなばれ）がやってきます。総勢200人の男衆。要所で見せ場があり、ゆつくりと進む長い行列に、時を忘れます。

花形は何と言っても鳥毛役です。鳥毛とは、大名行列で先頭の槍持ちが振って威勢を示した、鳥の毛で飾った指物のこと。鳥毛役は2人1組、翼を広げたような舞いも披露し、熱い視線を受ける役者が鳥毛を満身の力で投げ上げられ、相方が



ご祭神の火産大神

つ異なっています。

そのリズムや太鼓の叩き方は、3地区で少しず

全身バネのごとく飛び付き、竿を大きくしならせて受け止めました。観衆からどつと起る、拍手喝采。この瞬間こそ、奉納組の男たちにとって、永遠の憧れです。
練りには小学校低学年から参加し、最初は小立ちで、中立ち、サイハラ、槍へと成長に合わせ役が変わります。子どもたちが随所で練りながら見せる「かちあい」は、元氣いっぱい。太刀踊りでは竹の踊り棒を太刀で切る所作もあります。お囃子は主に中学生が担当、そのリズムや太鼓の叩き方は、3地区で少しずつ異なっています。
を乗せた神輿をかつぎ揺さぶる掛け声は、「キョウサ、キョウサー」重さは約200キロ。額には秋の字を染めた鉢巻きで、壮年世代が力を振り絞ります。練りの最後に還御する秋葉神社の境内では、立体の観客席があり、3回のお堂廻りで最高潮に。



観客も役者も

ひとつになる「秋葉さん」。



先払い役は鼻が高い天狗面で、「鼻高」と呼ばれます。遠州（静岡県）にある秋葉神社の前身、秋葉権現の三尺坊は神通力を持つ天狗だったとか。三尺坊が乗って空を飛ぶという白ギツネは、練りの太鼓を担いでいます。

この地へは平家の落武者であった佐藤清岩が遠州から勧請して岩屋で祀っていたのを、法泉寺を経て、1794（寛政6）年からは関所番の市川家へお祀りしていまし

た。やがて郷全体で信仰しようと、現在地へ遷座したものです。年に一度は神様を元の場所へ連れ帰る約束が守られて、練りが生まれました。

祭りは3日間かけて行われ、初日に、神体はお神輿に乗って岩屋神社に安置され、翌日の夜には市川家へ。3日目の朝から約3kmの山道を秋葉神社

へお戻りになるのが、大祭の練りです。別枝地域には本村、沢渡、霧之窪、3つの奉納組があり、毎年練る順を交替します。

太刀踊り



AR movie



「鼻高」

油売りの持つ棒は商人棒

秋葉まつり

a ki ba ma tsu ri

春夏秋冬
syun ka syu to

季節は厳寒、
山間の集落が
鮮やかに色づいて。

「ならし」の日々を経て



1月下旬、本番を控え、4度目の合同練習が別府小学校で開催されました。練りの練習を「ならし」と言い、合同練習は鳥毛の先が、屋上に届きそう。しっかり自分の地区の太鼓の音を聞き分けて練りをするように、子どもたちは大人に言われてがんばります。

こうして練習を重ね、雄壮で華やかな練りを披露する、祭り本番。家々で「お客」の宴が開かれ、通り沿いの家は行列の途中で喉を潤しに立ち寄れる、そんな習慣が今も残る秋葉さんです。

秋葉まつり

map P67 4-B

「記録作成等の措置を講ずべき文化庁無形民俗文化財」選定・高知県保護無形民俗文化財指定。練りの歴史は1794（寛政6）年から。

華やかな衣装に身を包み、
大勢の役者たちが練り歩く。
これぞ飛び切りの晴れ舞台です。



【交通のご案内】

国道33号を仁淀川町役場から松山市方面へ約30分、大祭当日は、秋葉口（トンネルの手前）の別枝大橋から入る一方通行となっています（出口は1本上流の橋で、愛媛県側）。秋葉口で駐車許可証（無料）を受け取り、道筋に立っている案内係の指示に従って駐車してください。

駐車場は複数あり、満車になれば路上が臨時駐車場となります。マイクロバスなどが中越家の下までピストン輸送しています。30分前後歩く場合もあります。しっかり防寒してお出かけください。

【時間の目安（別枝大橋まで）】
高知市から車で約1時間30分
松山市から車で約1時間30分

◎秋葉まつりについてのお問い合わせは
仁淀総合支所 ☎0889-32-1113
HP <https://www.town.niyodogawa.lg.jp>

大祭の見どころ・旅程

岩屋神社 8:30～ 9:00
市川家 9:10～10:00
大石家前 10:40～11:00
（鳥毛ひねりの見どころ）
法泉寺 11:10～11:50
中越家 13:00～13:30
出口道 13:30～13:45
（鳥毛ひねりの見どころ）
秋葉神社 14:20～15:30
※時間が前後する場合があります



◎秋葉まつり・大祭のお昼ごはん



お昼前から午後にかけての時間帯は、最も人出が多くなります。練りの行列が法泉寺で昼食の休憩を取る1時間ほどの間は、観客もひと休み。秋葉神社一帯には仁淀川町特産の、ヨモギが入ったいりもちやお昼の軽食、各種屋台などが出店しますので、どうぞご利用ください（椅子席などはありません）。

牧野富太郎博士、
最初に命名したのは
仁淀川町のヤマトグサ。



高知県立牧野植物園所蔵

仁淀川町は、国内で初めて、「学名」を発表した植物の発見地です。日本植物学の父と言われる牧野富太郎博士(1862-1957年)は、仁淀川でつながる佐川町に生まれました。22歳の時に仁淀川町の中部(旧吾川村)から採集した標本をもとに、27歳で、新種のヤマトグサとして学名を付け、雑誌へ発表したのです。また、足摺岬などに群生地があるノジギクは、牧野博士が仁淀川町川口で発見して学名を付けています。博士は全国各地を訪ね、生涯に1,500種類もの植物を命名。仁淀川町には、ワタナベソウやミツバテンナンショウの発見者・渡辺氏など、教え子や植物採集の協力者も多く、交流が続きました。

◎ヤマトグサ

牧野富太郎博士が日本で最初に学名をつけた新種のヤマトグサは、中津川上流域で発見。鳥形山の遊歩道にもたくさん自生しています。開花は春。ヤマトグサ科に属します。



写真=吉岡郷継

上川渡



吉田さんの生まれ故郷近郊の茶畑と棚田。

北浦橋



趣きある川沿いの集落と川の流れにしばし見とれる。

吉田 類 プロフィール

よしだ るい◎エッセイスト、俳人、イラストレーターなど多面的に活動。仁淀川町出身(旧仁淀村)で、東京都在住。お酒と自然からパワーをもらい、出演する人気TV番組「酒場放浪記」では全国の酒場を活気づけている。2011年より仁淀川町観光特使。

故郷の川渡橋



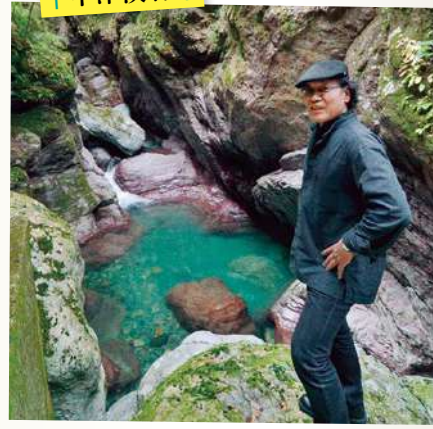
「あの岩から飛び込んだり、岩陰に隠れたり、思い出しますね。」五所神社の鳥居前に碑あり「流水永遠」。

長者



マチュピチュの集落、地区全景。

中津溪谷



滝壺で泳いだ思い出は永遠。

安居溪谷

乙女河原で一句。



個性あふれる「酒場詩人」として、各種メディアで大活躍している吉田類さん。じつは仁淀川町(旧仁淀村)出身で、2011年、町で初めて誕生した観光特使でもあります。ガイドブックの制作に合わせて、その類さんが帰郷。様々な見どころを訪ね歩き、仁淀川町の素晴らしさを再確認しました。

Rui Yoshida presents

ふるさとの旅 アルバム



安居溪谷

息をのむような美しさ。



花の図鑑

牧野博士の気分になって
個性派植物を見つけに行こう。

◎ノジギク

明治17年(1884)11月に、博士はこの場所で「おびただしく野生状にあるのを発見した。」と説明しています。この花は、栽培菊の原種の一つともいわれ、通常は海岸に分布していますが、四国山地の中央部に見られるということは、珍しいとのこと。



◎テバコ モミジガサ

いの町との境にある手箱山に由来する命名。山林の日陰を好み、背丈50cmほどの多年草。葉裏の葉脈が浮き出るのが特徴。花期は8~10月。



◎ヒメキリンソウ

牧野博士が命名した四国山地固有の多年草で絶滅危惧種。尖った黄色い花弁は星のよう。6~7月、山の岩場に咲きます。



◎トリガタ ハンショウヅル

明治期に牧野富太郎が鳥形山で採取して命名した、つる性の高山植物。半鐘蔓の由来は釣り鐘状の花、4~6月に開花。



◎ワタナベソウ

四国や九州の山岳に自生する希少植物。植物学者の矢田部良吉が、これを発見した小学校の渡辺先生にちなんで命名。花は夏に開花。



写真=吉岡郷継

山の図鑑

歩いて楽し、見て楽し
テーマをもって登れば、なお楽し。

仁淀川町最高峰

筒上山 | ▲1,859m |
map P66 10-D

一帯は西日本最高峰の石鎚山など、堂々たる名峰が連なるエリア。石鎚山系森林生態系保護地域に指定された豊かな森です。



志士たちの脱藩ルート

黒森山 | ▲1,017m |
map P66 6-F

脱藩の志士が抜けた松山街道や、平安時代の官道ゆかりの史跡などが残る歴史の山。晴れば太平洋の遠望にも期待。



初心者にも優しい登山

雨ヶ森 | ▲1,390m |
map P66 8-E

安居溪谷の西方向にあり、登山道は初心者から上級者向けまで。岩柄・椿山・櫻山の3ルートが整備されています。



山頂までドライブ

中津山(明神山) | ▲1,541m |
map P67 5-B

愛媛県境に位置し、山頂には国土交通省の雨量レーダーや平家落人伝説の明神山城跡があり、眺望抜群。車道は山頂まで。



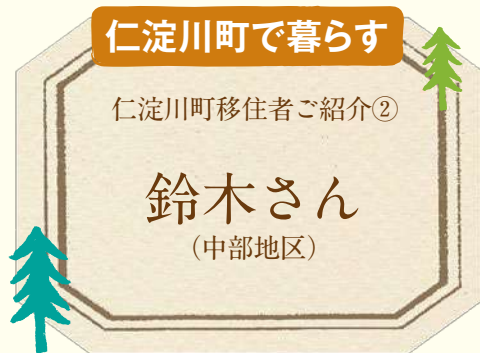
※鳥形山の情報はP30を参照 (map P67 3-B)



思いを込めて一本一本、木を植えます

山があれば
暮らしていける

※林業研修生制度については
仁淀川町農林課まで
☎0889-35-1083



仁淀川町で暮らす

仁淀川町移住者ご紹介②

鈴木さん
(中部地区)

40歳、ゼロからの挑戦

仁淀川町へ来る前は、横須賀市でカフェを営んでいた鈴木宏治さん。
生まれも育ちも横須賀で、外の世界を全く知らなかったといいます。カフェで多くの人と話をしていく中で自分の価値観、視野がどんどん広がっていききました。
お店を始めて13年、夫婦で思い切って横須賀を飛び出し、またゼロから挑戦してみようと決意。「40過ぎのおじさんの一大決心です(笑)」。

林業との出会い、仁淀川町との出会い

四季を感じる仕事がしたい。そう思い仕事を探していた時、林業という仕事を知り、自分も挑戦したいと感じた鈴木さん。東京の移住相談所で、林業がしたいと伝えると、相談員から森林面積日本一の高知県を紹介されました。高知県の相談員からは「林業をやりたいのであれば、ぜひ会ってほしい人がいる」と紹介していただいた方が、仁淀川町役場職員の奥田誠さん。それが仁淀川町との最初の出会いです。その後、奥田さんから、仁淀川町や、林業について熱い思いを聞いた鈴木さん。「こんなに町のことを思っている人がいる。この町で働いたらおもしろそう」と

感じ、仁淀川町に移住することを決意。
ずっとこの町で生きていきたい

水と空気が新鮮な仁淀川町。毎日飲む水が本当に美味しくて感動しているという鈴木さん。畑をやったり、山菜、タケノコ、栗拾いなど、四季を感じながら毎日楽しく暮らしているそう。「林業の仕事は答えがありません。今植えている木が立派に成長する姿を自分は見届けることはできない。とても不思議な世界ですし、そこに魅力を感じています」。鈴木さんは今日も、次世代のために木を植え、山を守っています。



鈴木宏治さんと妻の久美子さん

山の暮らしを体験しに、
ぜひ仁淀川町へ。



古城亜希子さん



池川こんにやく(おくきび)

山のめぐみ舎cafe/workshop

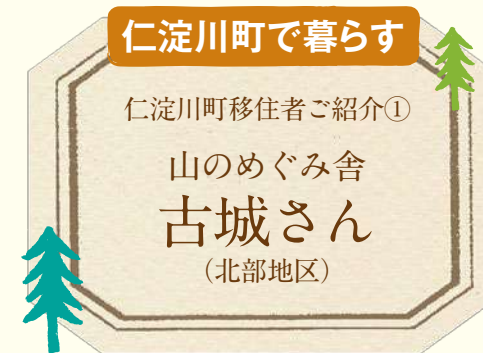
TEL/090-8024-5576
営業日/完全予約制
※ご予約可能日は、Instagram
「@akko2244」をご確認ください



季節ごとに旬の野菜を
楽しめます



山のめぐみプレートは3日前までの完全予約制です



仁淀川町で暮らす

仁淀川町移住者ご紹介①

山のめぐみ舎
古城さん
(北部地区)

ご縁を感じた仁淀川町

神奈川県出身の古城亜希子さんが初めて仁淀川町へ訪れたのは、2012年の秋。とある野菜づくりワークショップに参加したことがきっかけで、高知の植生の豊かさに興味を持つようになり、初めて訪れた仁淀川町は、自然が近く空気が美しい場所でした。2週間、3カ月と訪れるたびに滞在時間を増やすと、仁淀川町で暮らすイメージが沸いてきました。東日本大震災の直後、都会への生活に不安を抱いたこともきっかけとなり、

仁淀川町で、新たな生業に出会う

古城さんは「地域おこし協力隊」として仁淀川町への移住することを決めました。

地域おこし協力隊として、仁淀川町北部(旧池川町)の伝統食「池川こんにやく」に関わってみないかと声がかかったのは移住して1年目のこと。その後、こんにやく芋を見たことのない全くのゼロから地域のお母さんたちに2年にわたってこんにやくの作り方を教わり、地域おこし協力隊を卒業した現在では池川こんにやくを次世代につなぐと、古城さんが中心と

なつて製造・販売を行っています。さらに2018年9月には池川こんにやくが食べられるカフェ「山のめぐみ舎cafe/workshop」をオープンしました。

「池川こんにやくを味わいながら、仁淀川町の澄んだ空気を感じ、ゆっくりとお過ごしいただくため完全予約制で営業しております。今後は、仁淀川町の豊かさを伝える宿泊やギャラリーなど地域の方と繋がる場にしていきたい」と、この場所を拠点に地域の和を広げていく展望についても教えてくれました。

林業

地域を支える林業

高知県の森林率は全国トップで、県土の84%を占めています。仁淀川町はそれをさらに上回る89%で、このうち74%はスギやヒノキなどの人工林です。人の手によつて植林された木は、切り出して木材になるまで、間伐や下刈りなどの手入れをしながら、長い年月をかけて育てられます。ところが、全国の山村では森林の荒廃化が進んでいるのが現状です。

そんな中、仁淀川町では、先人から受け継いできた森を残そうと、個人や団体、企業などが森の守り手となつて積極的な森づくりが進められています。その中のひとり西森功さんは、多くの小規模所有者が持つ森林を取りまとめながら、森の中に作業道を付け、間伐や集材、搬出を行う作業をしています。これにより、収益の還元や安定的な雇用、後継

者の育成にもつながっています。

仁淀川町では2005年から、木質バイオマスを使った発電や木質燃料をつくるエネルギー自給システムも事業化しました。間伐材などを有効利用しながら、森林の再生とエネルギーの地産地消、地域循環型社会の実現を目指す取り組みとして期待されています。また、仁淀川町は2016年から、移住者を受け

入れて担い手を育成する「林業研修生制度」も始めました。森は、木材を供給するのはもちろんのこと、美しい水や空気を育み、豊かな水を蓄え、災害防止や生態系の維持など大切な役割があります。森を守ることが同時に、人々の暮らし全体を守ることもあるのです。

人は森と共に生きる

高性能林業機械を使って、森の中を整備する西森功さん(左)。



研修生の様子



林業体験ツアーの様子

高い林業研修生制度の実績

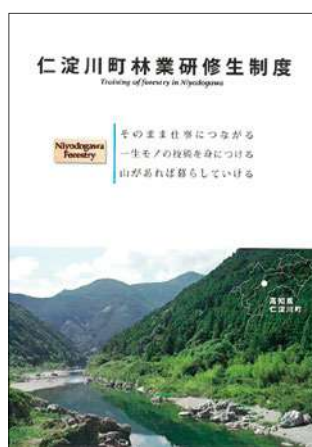
仁淀川町が全国でも先進して取り組むのが、2016年に始めた「林業研修生制度」です。意欲のある人材(18歳以上)を全国に募集しています。ゼロから技術を身に付けて移住定住できる手厚いサポート体制が魅力です。研修生は1年間かけて実践的に研修先で林業を学び、給料が得られ、町内の住宅を無償で貸与されます。就業に必要な技術はもちろん、重機の免許も取得できる仕組みです。

そして研修を終えると、林業の担い手として研修先の林業事業体や森林組合などへ就業します。また、研修生を受け入れる準備として林業体験ツアーを実施し、全国からの研修生希望の移住への窓口を広めています。

やりがいと生活設計を兼ね備えた林業の仕事は、「全国から人を呼ぶ」町の財産です。



君澄(きみすみ)～山林ガール編～



仁淀川町林業研修生パンフレット

林業インタビュー

大原栄博さん



プロフィール
池川木材工業(有)代表取締役。約70人の従業員と、県産材の建築資材などを製造・販売する。バイオマス燃料の工場やCLTラミナを生産する大型製材工場も建設。

仁淀川町北部の旧池川町に近づく、通称「いけもく」の製材工場から立ち昇る白い煙が見えます。この町で元気に仕事をしているよという合図のように。社長は大原栄博さん。地元のスギやヒノキで建築資材や木工品を作る他、間伐材を活用した押し入れ用スノコなどのヒット商品も世に出しています。最盛期の昭和20年代には、旧池川町に営林署の事業所が3つもある林業の町でした。

大原さんの工場では、製材の乾燥施設にバイオマス燃料を使っています。「二酸化炭素のたくさん出る化学燃料をやめ、エコの方向へ。昔から貧乏会社は重油を買わずに木を燃やすと言われたもの(笑)。オガクズや樹皮、パルプにならないチップをね。木質バイオマス乾燥設備は10年たらずに元が取れる予定です。ここは、木がなくては成り立たない。素材を120%生かさないと」。

「間伐や手入れも、自分たちの力でやれるところはやろう、というスタンスです。僕らのやるのは、少々のこと。でも東になれば力になるし、元気に仕事していることが、人を呼ぶ原動力になれば。益を酌み交わして、飲みながらこういう話をするのが池川流なんですよ。」そう言った大原さんは目を輝かせました。





仁淀川の面白さ、それはいくつもの顔を見せてくれること。愛媛県境には大渡ダムがありますが、清らかな支流が葉脈のごとく何本も流入して透明度を上げ、豊かな水系を形づくっています。仁淀川町を流れる支流は、岩屋川、長者川、中津川、安居川、土居川など。水系には新緑や紅葉に映える美しい渓谷があり、アユやアメゴなどの姿も見られます。複雑な地層帯が入り組み、生命の多様性も生まれました。川の生きものと山の生きもの、空の生きものが混じり合って暮らしている、そして、子どもも大人も澄んだ水辺に親しむ「生きた大河・仁淀川」、それは未来にたぐ豊かです。

名前の由来の一つは、平城帝の皇子、高岳親王が、淀川に似ていることから仁淀と名付けたという伝説です。その後、醍醐天皇の時代に制定された「延喜式」には、朝廷の贄殿への貢ぎ物で土佐国のアユが登場します。この贄殿から転じて仁淀川になったともいわれます。

2010年、日本一の清流となつた仁淀川は、日本の原風景とともに流れています。その源は、西日本最高峰の石鎚山系。夏は雨が多く、冬は雪と氷に閉ざされる原生林です。深いV字型峡谷を削って蛇行し、県境を越えて面河川から仁淀川へと名を変え、太平洋まで124kmの旅をします。

仁淀川、豊かな水系を未来へ



仁淀ブルー

Niyodo Blue

忘れられない日本の原風景が、生きています。



右上から時計回り、ゲンジボタル(池川)、ヤマセシ(池川)、トンボ(池川)、シモバシラ(安居溪谷)、フクロウの幼鳥(桜地区)

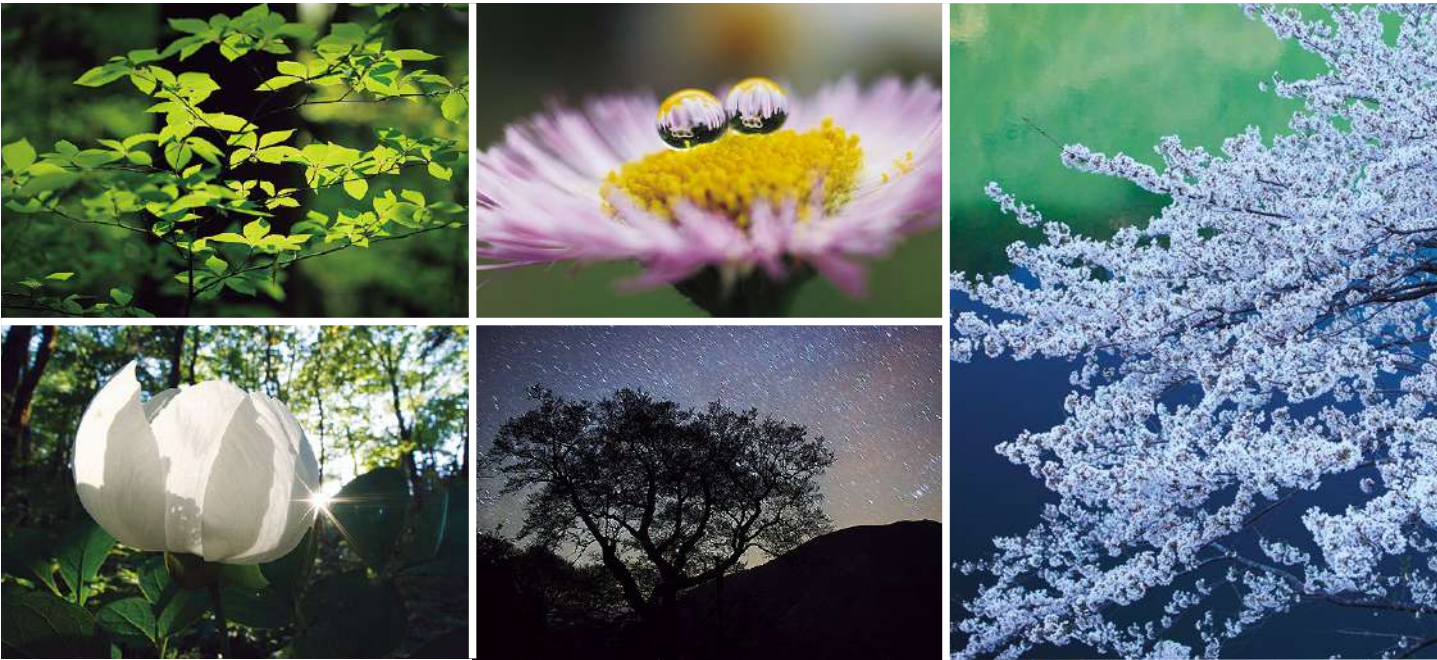


銀色に輝くカワガラス(安居溪谷)



美しい水の故郷
仁淀川町
Nobuyuki Takahashi

水飛沫(安居溪谷)



右から時計回り、ソメイヨシノ(ダム湖畔)、ひょうたん桜(桜)、ヤマザクラ(鳥形山)、新緑の森(鳥形山)、ハルジョオン(鳥形山)

仁淀川町 データブック Data Book

仁淀川町は高知県の北西部、清流仁淀川の上流域に位置し、高知市からは約45km、車で約1時間10分の距離です。また、広域的にみると高知市と松山市の中間に位置し、両市を結ぶ国道33号や国道439号が交差する地域であり、北に四国山地、東西に仁淀川が横断する美しい自然に恵まれています。

町内を流れる仁淀川は、愛媛県久万高原町に源を発し、長者川、中津川、土居川など数多くの支流を集めながら太平洋へと注ぎ込んでおり、平地は少なく、仁淀川本・支流の川沿いに深くV字型の刻まれた峡谷のため、地形は全般的に険しく、町の総面積の約89%は山林で占められています。

集落は仁淀川本・支流の川沿いや緑深い山麓の標高200～700mに集落が点在、豊かな森と水の恵みを活かした茶業や林業などをはじめとする里山産業を営んでいます。

平成17年8月1日に地理的・歴史的にもつながりの深い、3町村(旧吾川郡池川町・吾川村、旧高岡郡仁淀村)が合併して誕生した町です。

仁淀川町の概要

- 町の位置 | 高知市と松山市のほぼ中間、北に四国山地、東西に仁淀川が横断
- 町の面積 | 総面積333km²、東西に16km、南北に29km
- 土地の利用状況 | 山林89.3%、農用地2.4%、道路0.5%、住宅地0.4%、その他7.4%
- 地形 | 標高100～1,800mの山間地。集落は川沿いや山麓に点在
- 年間降水量 | 約3,000mm(池川・高知地方気象台「平成27年高知県の気象」)
- 主要な河川 | 仁淀川及びその支流(土居川・長者川・中津川他)
- 人口 | 4,827人(令和2年国勢調査)
- 世帯数 | 2,460世帯(令和2年国勢調査)
- 主な産業 | 鉱業、農業、林業、

町章について

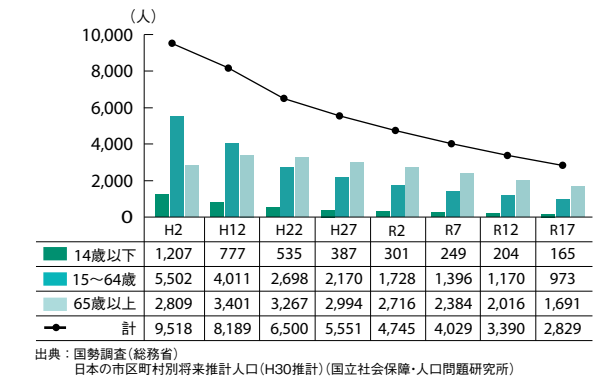
仁淀川町の「に」の文字をモチーフに、仁淀川などに代表される川を、中心の「青」の線で表し、山々を「緑」、人(町民)の力を「赤」で表現しています。

また、仁淀川町が3町村の合併により誕生したことを含め、町民が中心に、行政・企業が新しい未来に向かっていくことを3本の線で描いています。

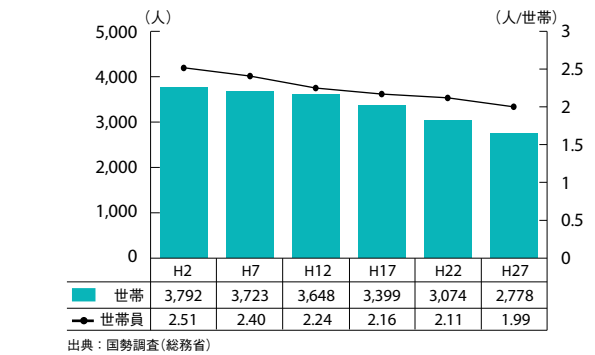
町のシンボル(2015年10月決定)



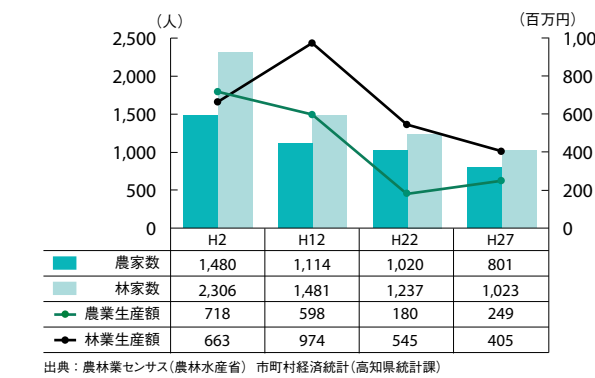
人口の推移



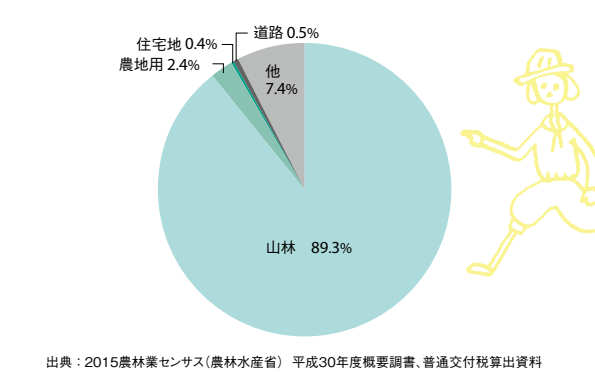
世帯及び世帯員の推移



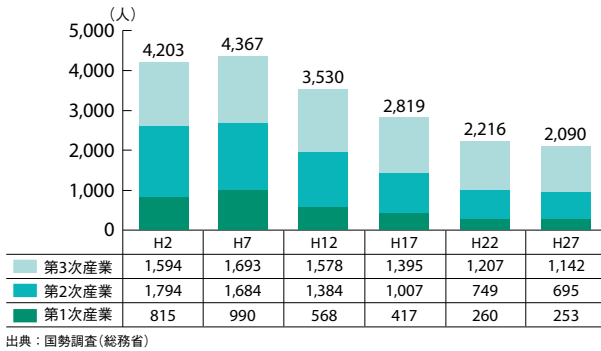
農家数、林家及び生産額の推移



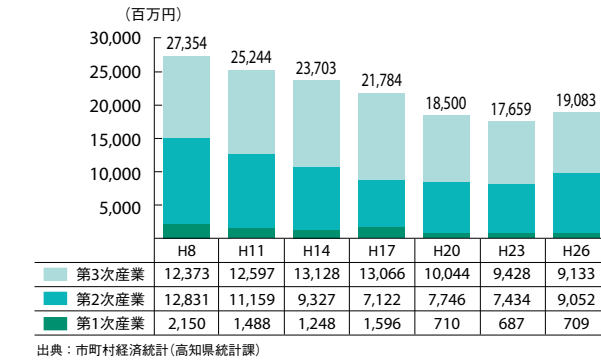
土地の利用状況(平成30年度)



産業別人口の推移

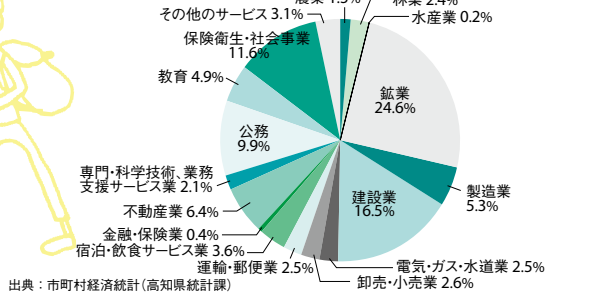


産業別総生産額の推移



産業別総生産額(平成28年度)

区 分	仁 淀 川 町			高 知 県	
	構成比	県全体に占める割合		構成比	
第1次産業	744	4.1	0.8	94,342	4.1
農業	283	1.5	0.4	67,385	2.9
林業	433	2.4	4.9	8,818	0.4
水産業	28	0.2	0.2	18,139	0.8
第2次産業	8,502	46.4	2.1	407,633	17.5
鉱業	4,503	24.6	57.8	7,796	0.3
製造業	972	5.3	0.5	205,646	8.8
建設業	3,027	16.5	1.6	194,191	8.3
第3次産業	9,069	49.5	0.5	1,826,336	78.4
電気・ガス・水道業	449	2.5	0.7	65,798	2.8
卸売・小売業	471	2.6	0.2	303,975	13.1
運輸・郵便業	465	2.5	0.4	125,874	5.4
宿泊・飲食サービス業	654	3.6	0.7	87,784	3.8
金融・保険業	74	0.4	0.1	94,668	4.1
不動産業	1,176	6.4	0.5	250,085	10.7
専門・科学技術・業務支援サービス業	383	2.1	0.3	143,478	6.2
公務	1,806	9.9	1.1	171,544	7.4
教育	896	4.9	0.6	145,772	6.3
保険衛生・社会事業	2,125	11.6	0.7	303,151	13.0
その他のサービス	570	3.1	0.4	134,207	5.8
計	18,315	100.0	0.8	2,328,311	100.0



歩み(主な出来事)

- 2005(平成17)年
 - 8・1 仁淀川町誕生(旧吾川村、旧池川町、旧仁淀村が合併)
 - 8・28 初の町長選挙。藤崎富士登氏が当選
 - 10・3 大野敏光氏が町教育長に就任
- 2006(平成18)年
 - 1・1 大石弘秋氏が町助役(副町長)に就任
 - 4・1 町教育研究所開所
- 2007(平成19)年
 - 8・6 コミュニティバス運行開始
- 2008(平成20)年
 - 4・1 防災行政無線運用開始
- 2009(平成21)年
 - 8・3 町長選挙で大石弘秋氏が無投票当選
 - 10・27 片岡廣秋氏が副町長に就任
- 2010(平成22)年
 - 2・10 町消防団が日本消防協会の特別表彰「まとい」受章
 - 5・15 池川神社で町制5周年記念イベント開催
- 2011(平成23)年
 - 3・6 高知県立仁淀高等学校閉校式典
 - 10・14 仁淀川町初の観光特使に、吉田類氏を委嘱
- 2012(平成24)年
 - 12・1 集落活動センター「だんだんの里」開所
- 2013(平成25)年
 - 3・23 吾川中学校閉校式典
 - 3・30 「いけがわ439交流館」開所
- 2014(平成26)年【7・26 国道439号大植バイパス開通】
- 2015(平成27)年
 - 4・1 仁淀川町観光協会設立
 - 10・18 仁淀川町合併10周年記念式典「仁淀川町のおさやく」開催
- 2016(平成28)年
 - 1・1 竹本雅浩氏が教育長に就任
- 2017(平成29)年
 - 3・18 全国初、大渡ダム大橋修繕代行完了(町要請で国が実施)
 - 4・1 仁淀川町観光特使に、高橋宣之氏、片岡大育氏を委嘱
 - 11・19 仁淀総合支所 新庁舎完成
 - 12・17 仁淀川町役場本庁舎 新庁舎完成
- 2018(平成30)年
 - 1・4 仁淀川町役場本庁舎・仁淀総合支所 新庁舎での執務開始
- 2019(平成31・令和元)年【5・1 新元号「令和」に改元】
 - 6・27 グループホーム「仁淀の里」完成
 - 7・1 仁淀川町観光特使に、大野敏光氏を委嘱
 - 9・1 仁淀川町観光特使に、山口聡氏を委嘱
- 2020(令和2)年【1・25 国道33号 橋中津トンネル開通】
 - 3・8 集落活動センター「山村自然楽校しもなの郷」開所
 - 12・14 成田十次郎氏が仁淀川町名誉町民第1号に
- 2021(令和3)年【7・16 映画「竜とそばかすの姫」公開】
 - 4・1 仁淀川町交流センターがオープン
 - 5・1 仁淀川町交流センター4階に図書室がオープン
 - 8・8 町長選挙で古味実氏が当選
 - 10・1 副町長に竹本雅浩氏、教育長に黒川一彦氏が就任
- 2022(令和4)年
 - 4・1 仁淀川町国民健康保険仁淀診療所が開設
 - 7・28 仁淀川町林業振興センター完成
- 2023(令和5)年
 - 6・23 仁淀川町再造林率100%宣言
 - 7・22 「秋葉まつりの里・未来会議事務所」開所
- 2024(令和6)年
 - 1・1 仁淀川町観光特使に、仲町浩二氏を委嘱

